

資料目次

資料番号	資料頁	資料内容	本文頁
資料1	2頁	設置に係る人材需要の見通し調査（採用意向についてのアンケート調査） 報告書	3頁, 19頁
資料2	31頁	設置に係る学生確保の見通し調査（入学意向についてのアンケート調査） 報告書	8頁

岡山理科大学大学院
「獣医学研究科（仮称）」
設置に係る人材需要の見通し調査
（採用意向についてのアンケート調査）
報告書

2023（令和5）年2月
株式会社高等教育総合研究所

岡山理科大学
「獣医学研究科(仮称)」
設置に係る人材需要の見通し調査
(採用意向についてのアンケート調査)

報告書 目次

1. 採用意向についてのアンケート調査 実施概要	1
2. 採用意向についてのアンケート調査 集計結果	2
3. 採用意向についてのアンケート調査 集計結果ポイント	10
(添付資料)	18
採用意向についてのアンケート調査用紙(紙方式)	19
「獣医学研究科(仮称)」概要(紙方式)	22
採用意向についてのアンケート調査回答画面(Web方式)	24

1. 採用意向についてのアンケート調査 実施概要

調査対象	岡山理科大学が2024(令和6)年度に設置構想中の大学院「獣医学研究科(仮称)」の「獣医学専攻 博士課程(仮称)」または「獣医保健看護学専攻 修士課程(仮称)」の養成する人材について採用が見込まれる、岡山理科大学獣医学部の実習先・インターンシップ先または卒業予定者の内定先となっている愛媛県・周辺県をはじめ全国の動物病院、動物園・水族館、養牛場・養豚場・養鶏場、企業(製薬・食品・飼料)、行政機関(国家公務・地方公務)など、合計840箇所の人事・採用担当者を対象にアンケートを依頼した。
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 回答元の基本情報(所在地、施設等の種類、獣医師・動物看護師の勤務状況) ● 岡山理科大学大学院「獣医学研究科(仮称)」の「獣医学専攻 博士課程(仮称)」および「獣医保健看護学専攻 修士課程(仮称)」の社会的ニーズ、養成する人材の採用意向、回答元で勤務する人材への進学推奨について。 <p>全10問で主に選択肢式9問、記述式1問。</p>
調査時期	2023(令和5)年2月
調査方法	リストアップした対象先に、アンケート用紙・「獣医学研究科(仮称)」概要・返信用封筒ならびにWeb方式回答サイトQRコードを送付。ご協力いただける場合、紙方式は返信用封筒での返送、Web方式は指定サイトにアクセスの上で回答・送信いただく形とした(紙方式・Web方式いずれかのみでの回答とした)。
回答件数	有効回答数200箇所(返送率23.8%)

2. 人材需要アンケート調査 集計結果

※「構成比」(%)はいずれも、小数点第二位を四捨五入。

問1 貴機関・貴施設・貴社の所在地をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

	選択肢	回答数	構成比(%)
1	北海道	4	2.0%
2	青森県	2	1.0%
3	岩手県	1	0.5%
4	宮城県	1	0.5%
5	秋田県	1	0.5%
6	山形県	1	0.5%
7	福島県	2	1.0%
8	茨城県	2	1.0%
9	栃木県	1	0.5%
10	群馬県	0	0.0%
11	埼玉県	5	2.5%
12	千葉県	7	3.5%
13	東京都	19	9.5%
14	神奈川県	8	4.0%
15	新潟県	1	0.5%
16	富山県	2	1.0%
17	石川県	2	1.0%
18	福井県	1	0.5%
19	山梨県	0	0.0%
20	長野県	0	0.0%
21	岐阜県	3	1.5%
22	静岡県	5	2.5%
23	愛知県	11	5.5%
24	三重県	3	1.5%

	選択肢	回答数	構成比(%)
25	滋賀県	3	1.5%
26	京都府	7	3.5%
27	大阪府	16	8.0%
28	兵庫県	10	5.0%
29	奈良県	2	1.0%
30	和歌山県	0	0.0%
31	鳥取県	2	1.0%
32	島根県	1	0.5%
33	岡山県	3	1.5%
34	広島県	15	7.5%
35	山口県	6	3.0%
36	徳島県	4	2.0%
37	香川県	5	2.5%
38	愛媛県	23	11.5%
39	高知県	2	1.0%
40	福岡県	7	3.5%
41	佐賀県	1	0.5%
42	長崎県	2	1.0%
43	熊本県	1	0.5%
44	大分県	0	0.0%
45	宮崎県	4	2.0%
46	鹿児島県	2	1.0%
47	沖縄県	2	1.0%
48	海外	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
合計		200	100.0%

問2 貴機関・貴施設・貴社の種別をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目		回答数	構成比
1	動物病院	90	45.0%
2	動物園・水族館	11	5.5%
3	養牛場・養豚場・養鶏場所	5	2.5%
4	企業(製薬)	2	1.0%
5	企業(食品)	10	5.0%
6	企業(飼料)	0	0.0%
7	国家公務	2	1.0%
8	地方公務	38	19.0%
9	獣医学系大学・学部	1	0.5%
10	その他	39	19.5%
	無回答	2	1.0%
合計		200	100.0%

※「その他」とした場合の記載内容は8ページ参照。

問3 貴機関・貴施設・貴社にて勤務される獣医師、動物看護師(それぞれ有資格者含む)の勤務の有無をお答えください。(勤務されている場合、ご支障なければ勤務される人数を□に記載いただければ幸いです)

【獣医師】

選択項目		回答数	構成比
1	勤務している	163	81.5%
2	勤務していない	36	18.0%
3	わからない	1	0.5%
	無回答	0	0.0%
合計		200	100.0%

【動物看護師】

選択項目		回答数	構成比
1	勤務している	97	48.5%
2	勤務していない	87	43.5%
3	わからない	7	3.5%
	無回答	9	4.5%
合計		200	100.0%

※「勤務している」とした場合の勤務人数は9ページ参照。

問4以降は別紙・岡山理科大学大学院「獣医学研究科(仮称)」概要を確認の上、回答を求めた。

【「獣医学研究科 獣医学専攻 博士課程(仮称)」について】

問4 岡山理科大学が設置構想中の大学院「獣医学研究科 獣医学専攻 博士課程(仮称)」は社会的ニーズが高いと思われますか。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目		回答数	構成比
1	社会的ニーズは高い	39	19.5%
2	社会的ニーズはある程度高い	113	56.5%
3	社会的ニーズはあまり高くない	39	19.5%
4	社会的ニーズは高くない	9	4.5%
	無回答	0	0.0%
合計		200	100.0%

問5 岡山理科大学が設置構想中の大学院「獣医学研究科 獣医学専攻 博士課程(仮称)」が養成する人材を採用したいと思われますか。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目		回答数	構成比
1	採用したい	95	47.5%
2	採用しない	16	8.0%
3	わからない	89	44.5%
	無回答	0	0.0%
合計		200	100.0%

問6 貴機関・貴施設・貴社で勤務されている獣医師や研究職に従事する方を岡山理科大学が設置構想中の大学院「獣医学研究科 獣医学専攻 博士課程(仮称)」に進学・入学させるご意向についてお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目		回答数	構成比
1	研修制度(就学助成金)・休職制度などを利用させ、進学・入学させたい	1	0.5%
2	現職のまま進学・入学させたい	9	4.5%
3	進学・入学を推奨するが、本人の意思に任せる	30	15.0%
4	進学・入学を推奨する予定はない	91	45.5%
5	わからない	69	34.5%
	無回答	0	0.0%
合計		200	100.0%

【「獣医学研究科 獣医保健看護学専攻 修士課程(仮称)」について】

問7 岡山理科大学が設置構想中の大学院「獣医学研究科 獣医保健看護学専攻 修士課程(仮称)」は社会的ニーズが高いと思われますか。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目		回答数	構成比
1	社会的ニーズは高い	31	15.5%
2	社会的ニーズはある程度高い	95	47.5%
3	社会的ニーズはあまり高くない	56	28.0%
4	社会的ニーズは高くない	16	8.0%
	無回答	2	1.0%
合計		200	100.0%

問8 岡山理科大学が設置構想中の大学院「獣医学研究科 獣医保健看護学専攻 修士課程(仮称)」が養成する人材を採用したいと思われませんか。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目		回答数	構成比
1	採用したい	71	35.5%
2	採用しない	28	14.0%
3	わからない	99	49.5%
	無回答	2	1.0%
合計		200	100.0%

問9 貴機関・貴施設・貴社で勤務されている獣医師や研究職に従事する方を岡山理科大学が設置構想中の大学院「獣医学研究科 獣医保健看護学専攻 修士課程(仮称)」に進学・入学させるご意向についてお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目		回答数	構成比
1	研修制度(就学助成金)・休職制度などを利用させ、進学・入学させたい	2	1.0%
2	現職のまま進学・入学させたい	3	1.5%
3	進学・入学を推奨するが、本人の意思に任せる	26	13.0%
4	進学・入学を推奨する予定はない	88	44.0%
5	わからない	76	38.0%
	無回答	5	2.5%
合計		200	100.0%

問10 岡山理科大学が設置構想中の大学院「獣医学研究科 獣医学専攻 博士課程(仮称)」または「獣医学研究科 獣医保健看護学専攻 修士課程(仮称)」について期待される点、ご要望等がありましたら、ご自由にご記入ください。

回答内容	
1	愛玩動物看護師に国家試験が必要となります。今後獣医界においても動物看護師の果たす役割が増加し、世間からも注目されてくる時代が来ると思われます。そのような場に愛玩動物看護師をさらに教育し、よりすぐれた獣医業界にすべく、修士課程の設置は必要と考えます。
2	専門分野ではないので正直な所わかりません。申し訳ございません。
3	看護学科では、ミニ獣医を育成するのではなく、看護学を教育してほしい。介護を中心に。
4	・より高度な技術を持つ獣医師も養成いただけることは歓迎です。 ・願わくば、愛媛県に就職していただくと、なお良いと考えます。
5	貴大学が設置構想中の大学院については、社会的ニーズはある程度高いものと思われます。しかしながら弊社では、牛の世話などを行う業務については酪農家に委託しており、当該関連業務は社内では行っておりません。
6	計画養成である獣医学において、産業動物臨床あるいは家畜衛生を専門とする獣医師養成が貴学の設置目的であったと思いますので、博士課程設置の目的について、広く社会に説明される必要があると存じます。
7	小動物臨床の分野において、東日本の大学が有名だと感じています。西日本で中心となる大学を期待しています。
8	獣医学専攻博士課程には、家畜衛生分野における研究者の養成を期待します。
9	四国や中国地方の小動物開業獣医師や勤務獣医師が仕事に支障のない範囲で勉強出来る制度があればいいと思います。修士、博士にこだわらず勉強出来る制度もいいように思います。
10	頻繁に獣医師の採用試験を行うわけではありませんが、優秀な人材を多く育成していただきたいと思います。
11	山形市保健所における獣医師の採用を今後も継続して行っていく見込みがありますので、山形市職員として獣医師に勤められたい方やご興味がある方へ、採用情報のご周知、ご協力を今後ともよろしく願います。
12	申し訳ございません。アンケートをいただきましたが、私ども尾鷲市役所では、獣医師、動物看護師、研究職者が従事する部署はなく、採用も予定しておりませんので、上記のような回答をさせていただきます。
13	獣医師、看護師ともどのような分野をやられる予定なのかかわからないためなんともいえません。何をやられるのかかわかりましたら教えてください
14	現在の学部生の学生レベルがわからない中、大学院について判断しかねます。したがって、採用に関する判断は致しかねます。
15	専門分野に特化した技能や知識をもった人材を育成する事は良い事だと思う。ただ、現状の新卒学生には臨床上基礎的な技術や知識が足りてない所も多いと思っているので、そちらの習得も促進していただきたいと思います。
16	来年度から始まる愛玩動物看護師国家資格を、“愛玩”を除いた職場でも活躍できる国家資格への移行を要望し続けていただきたい。
17	研究職で活躍できる方の育成に期待しております。
18	ペットの臨床獣医師養成ではなく、社会貢献できる人材を養成してほしい。
19	獣医師の人数は入力できませんでしたが、160名所属しております。採用については、院卒の有無に限らず、いい人材であれば採用したいという考えです。よろしく願います。
20	埼玉からでは、現職のまま通学することは不可能と思われま
21	遠方のため進学は進めないが、四国地域の獣医学発展のためには良いことと考えます。全国的な地方の獣医師、看護師のレベル向上にも役立つように期待します。
22	他大学の博士課程との違いが不明瞭。近隣の大学や母校ではなく、貴学の博士課程を選択するメリットが不明瞭
23	本市では公的な動物病院など獣医職の方が勤務する職場が無いため、獣医の職種における募集を行っていません。そのため、本市の基準としてはすべて否定的な回答とさせていただきます。

回答内容	
24	優秀な獣医師を多数輩出されることを期待しています。
25	当園は人員も少ないため、臨床技術、飼育技術を兼ね備えた人材であれば採用したいと考えております。
26	当園勤務の獣医師は、行政機関からの派遣による。現在は直接雇用を行っておらず、将来的な採用についても未定。
27	博士課程を修了された方も応募いただければ獣医師として採用します。と畜検査、動物愛護、食品衛生など通常の公務員が行う業務となります。動物看護師については現在採用はありません。
28	産業動物関連の研究に期待したい。
29	ワンヘルスの観点から、人獣共通感染に関する研究の進展のため、その知識の豊富な人材の育成・確保の必要性から、博士課程の設置は非常に有意義であると思われま。
30	就職先が確立していれば良いけど、大学院は出たけど就職がないということになるのが心配です。
31	博士課程や修士課程を修めている人材を採用していけたら嬉しいです。進学・入学は本人の意思ではありますが、現在雇用している従業員に対して会社として進学・入学を推奨する事は難しいものと考えております。
32	公務員では、獣医師が採用困難職種となっていますが、職員には高度な専門的知識を取得したいと望む者も多く、大学院の設置を契機に職員向けに国内留学制度や助成制度が創設されれば、獣医師の採用増につながると思うので、設置を実現していただきますようお願いいたします。

問2で「その他」の場合に記載があった内容 ※【 】内数字は件数

国立研究開発法人	大学
国立研究機関	医学部
新規医薬品開発における非臨床試験の受託試験機関	公立大学法人
特殊法人研究機関	短期大学（栄養士、介護福祉士、幼児教育教員等の養成）
県獣医師会	専門学校（分野記載なし）【2】
日本中央競馬会	動物看護系専門学校
競走馬育成牧場【2】	動物系職業専門学校
牛受精卵の生産	動物系専修学校
酪農DXのプロダクト開発提供、自社牧場	企業（医薬品卸）
人工授精所	技術サービス業（化学・バイオ系研究職）
動物輸入卸業	CRO
農業共済組合【4】	エステ・美容
総合農協	サービス業
共同組合	企業（サービス業が主であるがグループ会社に健康食品事業あり）
協同組合	建設業
団体職員	

※「勤務している」としながら無回答は3箇所

問3で「勤務している」として提示された人数

獣医師		
勤務人数	回答数	人数合計
1	20	20
2	14	28
3	15	45
4	7	28
5	8	40
6	12	72
7	6	42
8	6	48
9	3	27
10	5	50
11	1	11
12	1	12
13	1	13
14	3	42
15	1	15
16	1	16
17	1	17
18	2	36
19	2	38
20	1	20
21	1	21
23	1	23
30	1	30
33	1	33
35	1	35
40	3	120
48	1	48
52	2	104
55	1	55
58	1	58
73	1	73
90	1	90
92	1	92
100	4	400
157	1	157
合計	131	1,959
1箇所平均	15.0	

動物看護師		
勤務人数	回答数	人数合計
1	8	8
2	2	4
3	6	18
4	5	20
5	7	35
6	8	48
7	4	28
8	2	16
9	2	18
10	9	90
11	2	22
12	3	36
13	2	26
14	1	14
15	3	45
17	1	17
18	3	54
20	1	20
21	1	21
24	1	24
25	1	25
30	4	120
40	1	40
43	1	43
45	1	45
109	1	109
合計	80	946
1箇所平均	11.8	

※「勤務している」としながら人数未提示は獣医師32箇所、動物看護師17箇所

3. 採用意向についてのアンケート調査 集計結果ポイント

①回答元の基本情報

Point 1

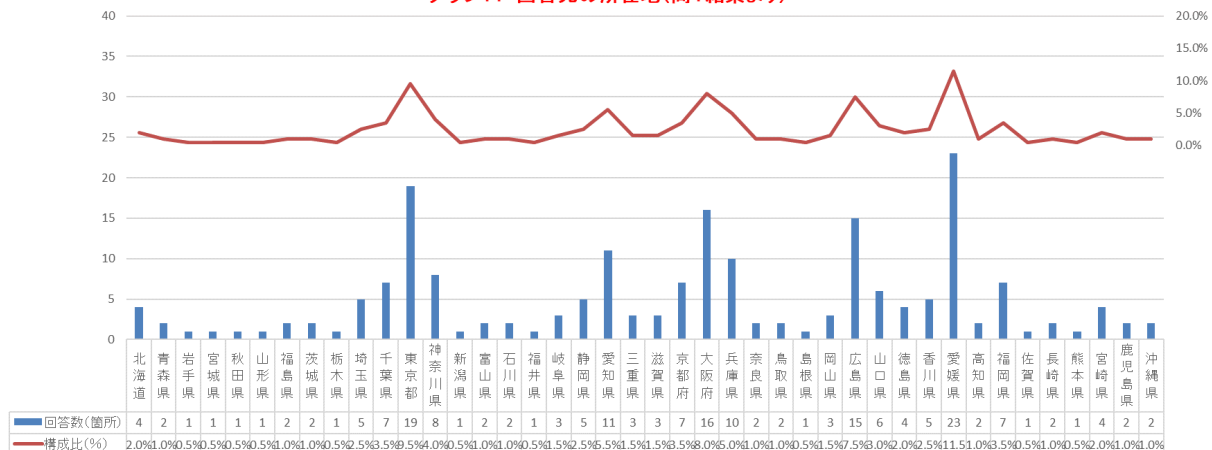
本アンケート調査に対し、愛媛県のみならず全国の動物病院、公的機関、動物園・水族館、畜産場、企業（製薬・食品）など200箇所が回答。

岡山理科大学が2024(令和6)年度に設置構想中の大学院「獣医学研究科(仮称)」の「獣医学専攻 博士課程(仮称)」および「獣医保健看護学専攻 修士課程(仮称)」の人材需要の見直しを検証するため、採用意向アンケート調査を実施し、200箇所から回答を得た。

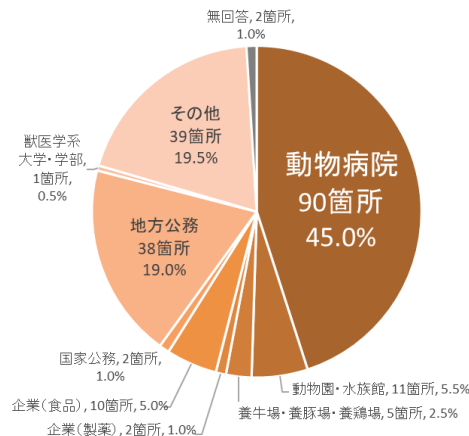
回答元の所在地として最も多かったのは本研究科の開設予定地である「愛媛県」23箇所(11.5%)で、四国合計は34箇所(17.0%)であった。都道府県別では次いで多かったのは「東京都」19箇所(9.5%)、「大阪府」16箇所(8.0%)、「広島県」15箇所(7.5%)、「愛知県」11箇所(5.5%)であった。他にも「北海道」4箇所、東北箇所(4.0%)、関東(東京都以外)23箇所(12.5%)、北陸6箇所(3.0%)、東海(愛知県以外)11箇所(5.5%)、近畿(大阪府以外)22箇所(11.0%)、中国(広島県以外)12箇所(6.0%)、九州・沖縄19箇所(9.5%)であった(グラフ1)。回答元種類としては「動物病院」90箇所(45.0%)が最も多く、次いで「その他」39箇所(19.5%)、「地方公務」38箇所(19.0%)であった。他にも「動物園・水族館」11箇所(5.5%)、「企業(食品)」10箇所(5.0%)や、「養牛場・養豚場・養鶏場」5箇所(2.5%)、「企業(製薬)」 「国家公務」各2箇所(1.0%)などであった(グラフ2)。

獣医師については163箇所(81.5%)、動物看護師については97箇所(48.5%)が勤務しているとした(次頁グラフ3-1・3-2)。勤務している獣医師人数は131箇所が回答し、合計は1,959人、1箇所平均人数は15.0人であった。勤務している動物看護師人数は80箇所が回答し、合計は946人、1箇所平均人数は11.8人であった(次頁グラフ3-3・3-4)。

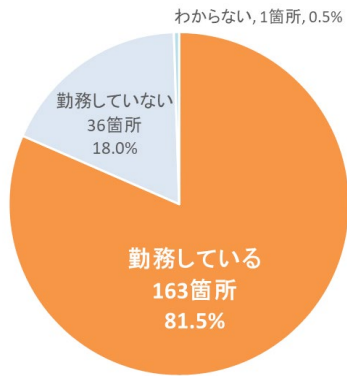
グラフ1: 回答元の所在地(問1結果より)



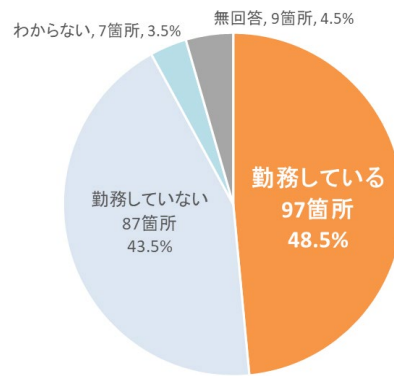
グラフ2: 回答元の種類(問2結果より)



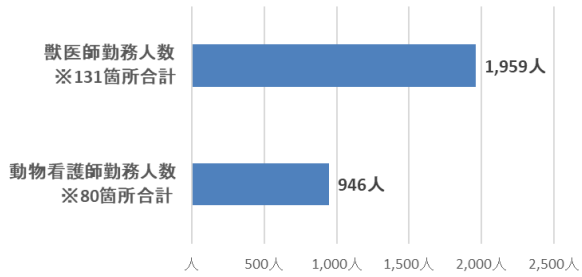
グラフ3-1: 獣医師の勤務状況(問3結果より)



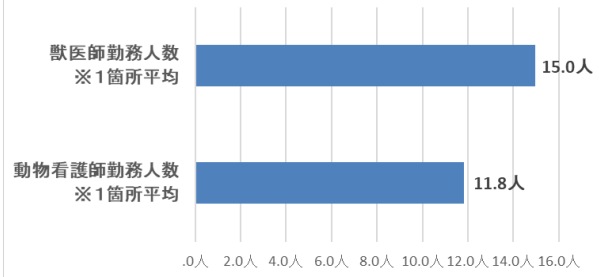
グラフ3-2: 動物看護師の勤務状況(問3結果より)



グラフ3-3: 獣医師・動物看護師の勤務人数 ※合計(問3結果より)



グラフ3-4: 獣医師・動物看護師の勤務人数 ※1箇所平均(問3結果より)



②岡山理科大学大学院「獣医学研究科 獣医学専攻 博士課程(仮称)」
社会的ニーズ、採用意向

Point 2 「獣医学専攻 博士課程(仮称)」の社会的ニーズについて、8割近い152箇所(76.0%)が認める結果。

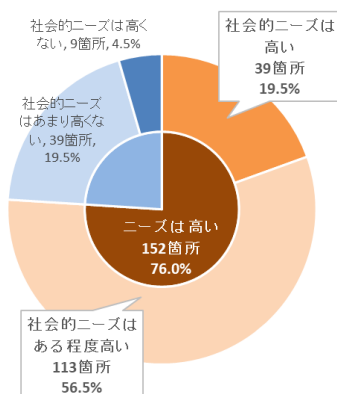
Point 3 「獣医学専攻 博士課程(仮称)」が養成する人材について半数近い95箇所が採用意向を示し、全国の幅広い施設等からニーズを確認。

岡山理科大学大学院「獣医学研究科 獣医学専攻 博士課程(仮称)」の概要を示した上でその社会的ニーズや各回答元における養成する人材の採用意向について回答を求めた。

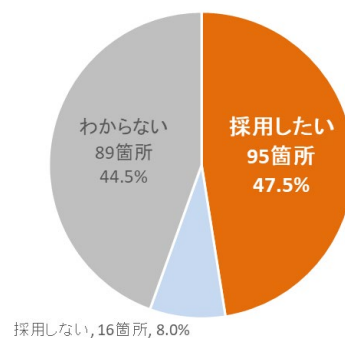
「獣医学研究科 獣医学専攻 博士課程(仮称)」の社会的ニーズについては、「社会的ニーズは高い」39箇所(19.5%)、「社会的ニーズはある程度高い」113箇所(56.5%)で、合計すると8割近いの152箇所(76.0%)が本専攻の社会的ニーズは高いとの認識を示した(グラフ4)。

さらに、採用意向については「採用したい」95箇所(47.5%)で、約半数が「獣医学研究科 獣医学専攻 博士課程(仮称)」の養成する人材採用に意欲を見せた(グラフ5-1)。これら95箇所の採用意向結果についてクロス集計を行い、その所在地別にみた。「愛媛県」8箇所を含む四国四県で計13箇所が採用意向を示しており地域的要請があることが確認できるが、この他にも最も回答が多かったのは「東京都」11箇所、「愛媛県」と同様に「愛知県」「大阪府」も各8箇所であった。この他、「北海道」3箇所、東北5箇所、関東(東京都以外)12箇所、北陸3箇所、東海(愛知県以外)5箇所、近畿(大阪府以外)10箇所、中国11箇所、九州8箇所であった。以上のことから、「獣医学研究科 獣医学専攻 博士課程(仮称)」が養成する人材は地元のみならず、全国的に人材需要があることが確認できた(次頁グラフ5-2)。また、回答元の施設等種類別では「動物病院」45箇所(採用意向を示した95箇所中47.4%)が最も多く、次いで「その他」20箇所(21.1%)、「地方公務」19箇所(20.0%)であった。他にも「養牛場・養豚場・養鶏場」3箇所(3.2%)、「動物園・水族館」「企業(製薬)」「企業(食品)」「国家公務」各2箇所(2.1%)など、獣医師が勤務する幅広い場において「獣医学研究科 獣医学専攻 博士課程(仮称)」が養成する人材について、その必要性が確認された(次頁グラフ5-3)。

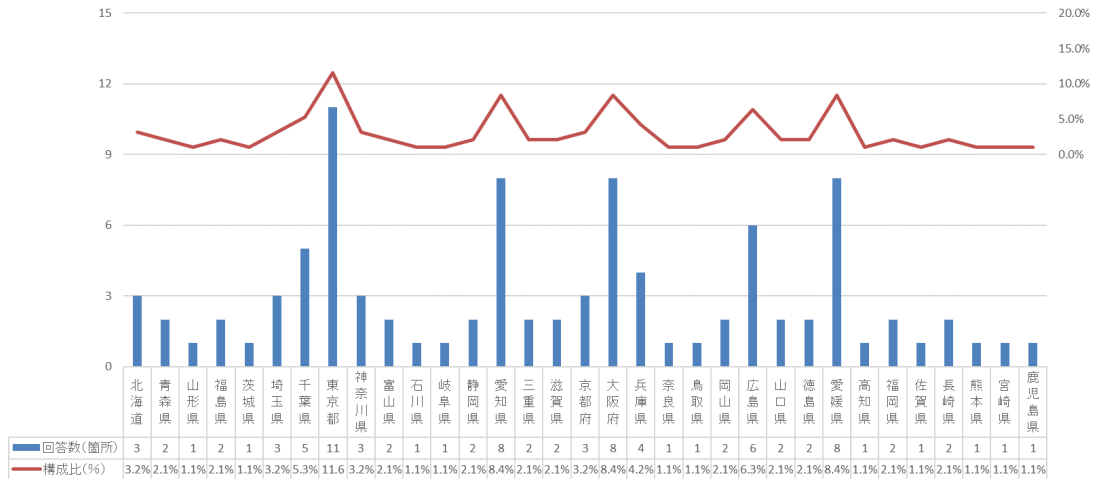
グラフ4: 岡山理科大学大学院
「獣医学研究科 獣医学専攻 博士課程(仮称)」
社会的ニーズについて(問4結果より)



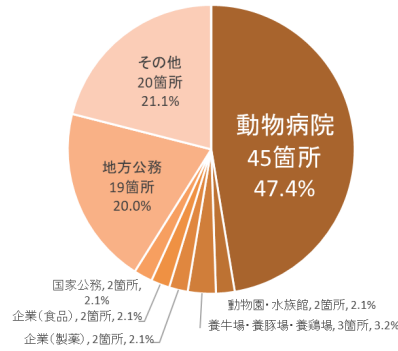
グラフ5-1: 岡山理科大学大学院
「獣医学研究科 獣医学専攻 博士課程(仮称)」
養成人材の採用意向について(問5結果より)



グラフ5-2: 採用意向を示した回答元の所在地(問5X問1クロス集計結果より)



グラフ5-3: 採用意向を示した回答元の種類(問5X問2クロス集計結果より)



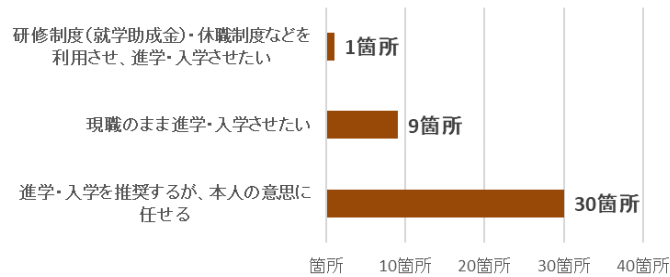
③岡山理科大学大学院「獣医学研究科 獣医学専攻 博士課程(仮称)」への進学推奨意向

Point 4

回答元で勤務する人材について、40箇所が岡山理科大学大学院「獣医学研究科 獣医学専攻 博士課程(仮称)」へ進学推奨の意向を示す。

回答元で勤務する人材に対し、岡山理科大学大学院「獣医学研究科 獣医学専攻 博士課程(仮称)」への進学推奨の意向について回答を求めた。結果、「研修制度(就学助成金)・休職制度などを利用させ、進学・入学させたい」としたのが1箇所あった他、「現職のまま進学・入学させたい」としたのが9箇所、「進学・入学を推奨するが、本人の意志に任せる」としたのが30箇所であった。以上のことから、一部の回答元では「獣医学研究科 獣医学専攻 博士課程(仮称)」の養成する人材の採用に留まらず、勤務する人材を学ばせる意向を示していることから、学生確保・人材需要両面のニーズがあることが確認できた。

グラフ6: 勤務する人材を「獣医学研究科 獣医学専攻 博士課程(仮称)」で学ばせる意向 (問6結果より)



④岡山理科大学大学院「獣医学研究科 獣医保健看護学専攻 修士課程(仮称)」
社会的ニーズ、採用意向

Point 5 「獣医保健看護学専攻 修士課程(仮称)」の社会的ニーズについて、6割を超える126箇所(63.0%)が認める結果。

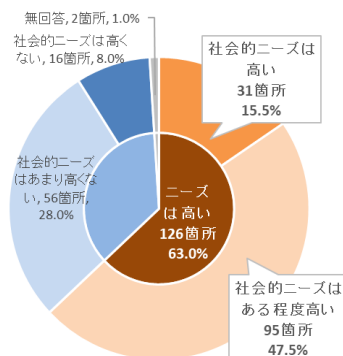
Point 6 「獣医保健看護学専攻 修士課程(仮称)」が養成する人材について71箇所が採用意向を示し、全国の幅広い施設等からニーズを確認。

岡山理科大学大学院「獣医学研究科 獣医保健看護学専攻 修士課程(仮称)」の概要を示した上でその社会的ニーズや各回答元における養成する人材の採用意向について回答を求めた。

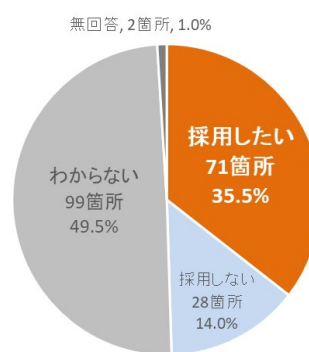
「獣医学研究科 獣医保健看護学専攻 修士課程(仮称)」の社会的ニーズについては、「社会的ニーズは高い」31箇所(15.5%)、「社会的ニーズはある程度高い」95箇所(47.5%)で、合計すると6割超の126箇所(63.0%)が本専攻の社会的ニーズは高いとの認識を示した(グラフ7)。

さらに、採用意向については「採用したい」71箇所(35.5%)で、3割以上が「獣医学研究科 獣医保健看護学専攻 修士課程(仮称)」の養成する人材採用に意欲を見せた(グラフ8-1)。これら71箇所の採用意向結果についてクロス集計を行い、その所在地別にみた。「愛媛県」6箇所を含む四国で計10箇所が採用意向を示しており地域的要請があることが確認できるが、この他にも最も回答が多かったのは「東京都」11箇所、「大阪府」7箇所、「愛知県」6箇所も「愛媛県」を上回るか同数であった。この他、「北海道」2箇所、「東北」2箇所、「関東(東京都以外)」12箇所、「北陸」1箇所、「東海(愛知県以外)」2箇所、「近畿(大阪府以外)」7箇所、「中国」8箇所、「九州」5箇所であった。以上のことから、「獣医学研究科 獣医保健看護学専攻 修士課程(仮称)」が養成する人材は地元のみならず、全国的に人材需要があることが確認できた(次頁グラフ8-2)。また、回答元の施設等種類別では「動物病院」42箇所(採用意向を示した71箇所中59.2%)が最も多く、次いで「その他」16箇所(22.5%)、「地方公務」5箇所(7.0%)であった。他にも「養牛場・養豚場・養鶏場」3箇所(4.2%)、「動物園・水族館」「企業(食品)」各2箇所(2.8%)、「国家公務」1箇所(1.4%)など、動物看護師が勤務する幅広い場において「獣医学研究科 獣医保健看護学専攻 修士課程(仮称)」が養成する人材について、その必要性が確認された(次頁グラフ8-3)。

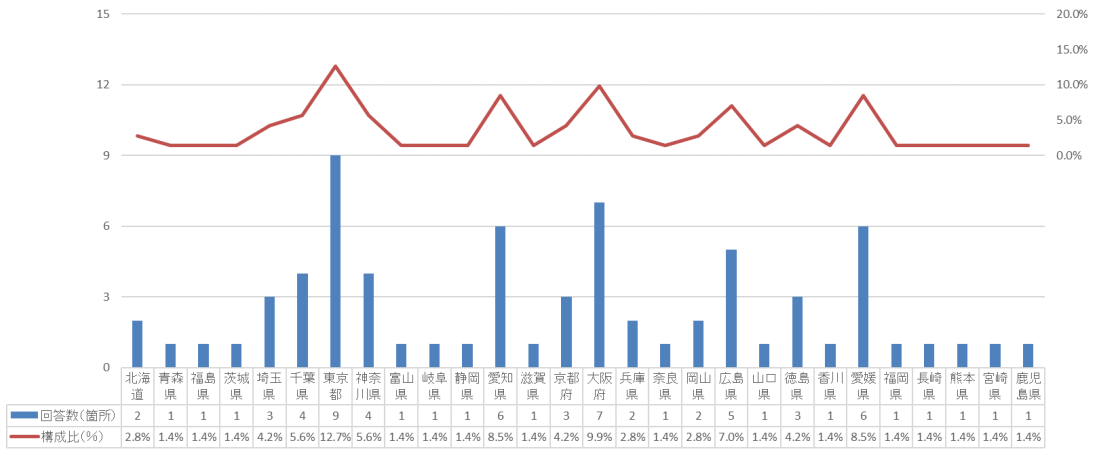
グラフ7: 岡山理科大学大学院
「獣医学研究科 獣医保健看護学専攻 修士課程(仮称)」
社会的ニーズについて(問7結果より)



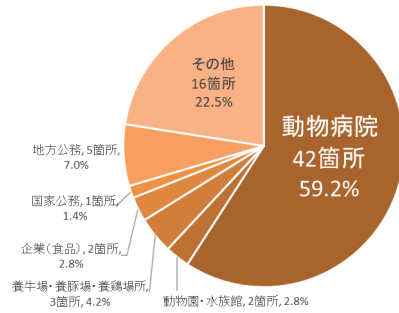
グラフ8-1: 岡山理科大学大学院「獣医学研究科 獣医保健看護学専攻 修士課程(仮称)」
養成人材の採用意向について(問8結果より)



グラフ8-2: 採用意向を示した回答元の所在地(問8X問1クロス集計結果より)



グラフ8-3: 採用意向を示した回答元の種類(問8X問2クロス集計結果より)



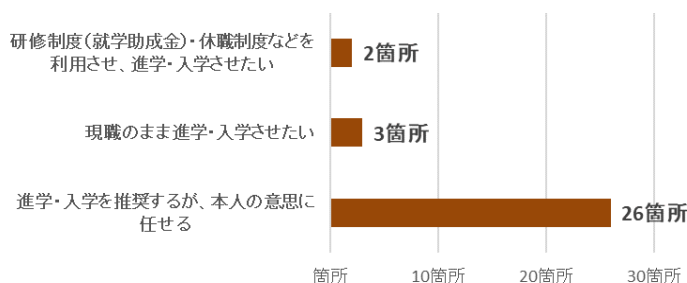
⑤岡山理科大学大学院「獣医学研究科 獣医保健看護学専攻 修士課程(仮称)」への進学推奨意向

Point 7

回答元で勤務する人材について、31箇所が岡山理科大学大学院「獣医学研究科 獣医保健看護学専攻 修士課程(仮称)」へ進学推奨の意向を示す。

回答元で勤務する人材に対し、岡山理科大学大学院「獣医学研究科 獣医保健看護学専攻 修士課程(仮称)」への進学推奨の意向について回答を求めた。結果、「研修制度(就学助成金)・休職制度などを利用させ、進学・入学させたい」としたのが2箇所あった他、「現職のまま進学・入学させたい」としたのが3箇所、「進学・入学を推奨するが、本人の意志に任せる」としたのが26箇所であった。以上のことから、一部の回答元では「獣医学研究科 獣医保健看護学専攻 修士課程(仮称)」の養成する人材の採用に留まらず、勤務する人材を学ばせる意向を示していることから、学生確保・人材需要両面のニーズがあることが確認できた。

グラフ9: 勤務する人材を「獣医学研究科 獣医保健看護学専攻 修士課程(仮称)」で学ばせる意向 (問9結果より)



(添付資料)



岡山理科大学大学院

獣医学研究科 獣医学専攻 博士課程 (仮称・設置構想中)

獣医学研究科 獣医保健看護学専攻 修士課程 (仮称・設置構想中)

採用意向についてのアンケート調査 (対象：人事採用担当者様)

【記入例】 ● ○ ○ ○

- ・上の記入例を参考に、黒鉛筆またはシャープペンでご回答ください。
- ・誤って記入した回答は消しゴムでしっかりと消してください。

問1 貴機関・貴施設・貴社の所在地をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

- | | | | | | | |
|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|----------------------------|----------------------------|
| <input type="radio"/> 北海道 | <input type="radio"/> 青森県 | <input type="radio"/> 岩手県 | <input type="radio"/> 宮城県 | <input type="radio"/> 秋田県 | <input type="radio"/> 山形県 | <input type="radio"/> 福島県 |
| <input type="radio"/> 茨城県 | <input type="radio"/> 栃木県 | <input type="radio"/> 群馬県 | <input type="radio"/> 埼玉県 | <input type="radio"/> 千葉県 | <input type="radio"/> 東京都 | <input type="radio"/> 神奈川県 |
| <input type="radio"/> 新潟県 | <input type="radio"/> 富山県 | <input type="radio"/> 石川県 | <input type="radio"/> 福井県 | <input type="radio"/> 山梨県 | <input type="radio"/> 長野県 | |
| <input type="radio"/> 岐阜県 | <input type="radio"/> 静岡県 | <input type="radio"/> 愛知県 | <input type="radio"/> 三重県 | | | |
| <input type="radio"/> 滋賀県 | <input type="radio"/> 京都府 | <input type="radio"/> 大阪府 | <input type="radio"/> 兵庫県 | <input type="radio"/> 奈良県 | <input type="radio"/> 和歌山県 | |
| <input type="radio"/> 鳥取県 | <input type="radio"/> 島根県 | <input type="radio"/> 岡山県 | <input type="radio"/> 広島県 | <input type="radio"/> 山口県 | | |
| <input type="radio"/> 徳島県 | <input type="radio"/> 香川県 | <input type="radio"/> 愛媛県 | <input type="radio"/> 高知県 | | | |
| <input type="radio"/> 福岡県 | <input type="radio"/> 佐賀県 | <input type="radio"/> 長崎県 | <input type="radio"/> 熊本県 | <input type="radio"/> 大分県 | <input type="radio"/> 宮崎県 | <input type="radio"/> 鹿児島県 |
| <input type="radio"/> 海外 | | | | | | <input type="radio"/> 沖縄県 |

問2 貴機関・貴施設・貴社の種別をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

- | | | | |
|---------------------------------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------|
| <input type="radio"/> 動物病院 | <input type="radio"/> 動物園・水族館 | <input type="radio"/> 養牛場・養豚場・養鶏場所 | <input type="radio"/> 企業(製薬) |
| <input type="radio"/> 企業(食品) | <input type="radio"/> 企業(飼料) | <input type="radio"/> 国家公務 | <input type="radio"/> 地方公務 |
| <input type="radio"/> 獣医学系大学・学部 | <input type="radio"/> その他 | | |

問3 貴機関・貴施設・貴社にて勤務される獣医師、動物看護師(それぞれ有資格者含む)の勤務の有無をお答えください。(勤務されている場合、ご支障なければ勤務される人数を□に記載いただければ幸いです)

【獣医師】

- | | | | |
|------------------------------|--|-------------------------------|-----------------------------|
| <input type="radio"/> 勤務している | | <input type="radio"/> 勤務していない | <input type="radio"/> わからない |
|------------------------------|--|-------------------------------|-----------------------------|

【動物看護師】

- | | | | |
|------------------------------|--|-------------------------------|-----------------------------|
| <input type="radio"/> 勤務している | | <input type="radio"/> 勤務していない | <input type="radio"/> わからない |
|------------------------------|--|-------------------------------|-----------------------------|





問 10 岡山理科大学が設置構想中の大学院「獣医学研究科 獣医学専攻 博士課程(仮称)」または「獣医学研究科 獣医保健看護学専攻 修士課程(仮称)」について期待される点、ご要望等がありましたら、ご自由にご記入ください。

質問は以上となります。ご協力をいただき、ありがとうございました。



岡山理科大学 獣医学研究科（仮称）

設置構想中

- 開設時期： 2024年4月(予定)
- 開設場所： 岡山理科大学今治キャンパス(愛媛県今治市いこいの丘1-3) ※アクセスは裏面参照
- 初年次納付金： 入学金10万円、授業料42万円、実験実習費10万円、施設設備費10万円(計72万円)(予定)

獣医保健看護学専攻

修士課程

(仮称・設置構想中)

- 修業年限： 2年
- 入学定員： 5名(収容定員10名)
- 取得学位： 修士(獣医保健看護学)

人間社会と密接な関係を持ち個人や社会を支える動物を管理するために必要な高度動物看護学または獣医関連科学の知識を有し、幅広い視点と最先端の研究戦略を用いて問題・課題を解決できる協調性・創造性豊かな獣医保健看護学専門家（動物看護師・獣医関連科学専門家）を養成します。

養成する人材

- 獣医学教育病院等における看護実践や研究を通じてエビデンスに基づいて問題・課題を解決できる高度動物看護専門家
- 公共獣医事・感染症・公衆衛生を扱う社会獣医科学やライフサイエンス分野において学際的な視点から研究の計画・遂行・考察を行うことができる社会獣医科学者・ライフサイエンス研究者を含む獣医関連科学専門家（VPP）

獣医学専攻

博士課程

(仮称・設置構想中)

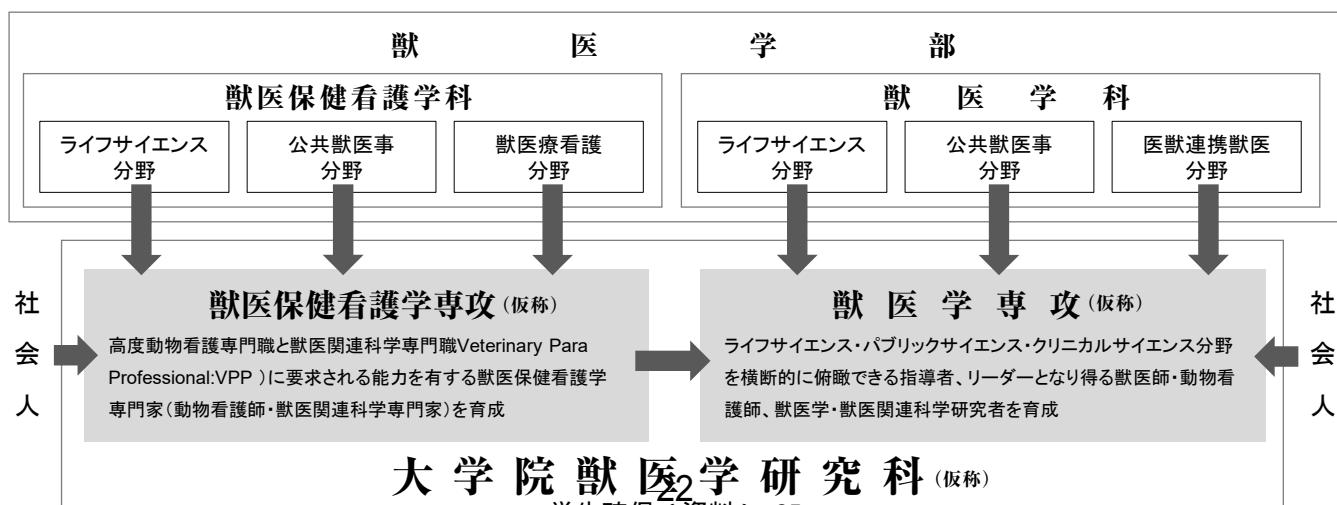
- 修業年限： 4年
- 入学定員： 3名(収容定員12名)
- 取得学位： 博士(獣医学)

「One world, One health, One medicine」の精神に基づき、ライフサイエンス、パブリックサイエンス、クリニカルサイエンスを含む獣医学に基づく視点・手法を用いてグローバルに諸問題を解決できる協調性・創造性豊かな学際的指導者ならびに次世代研究者を養成します。

養成する人材

- 動物から人へのTranslation Research Mind: One World, One Health, One Medicineに立脚した動物医療のみならず人医療を含めた疾患の新規診断法・治療方法・予防方法を萌芽できる科学的創造力を身につけた次世代研究者
- 感染症学分野・公衆衛生学分野・衛生学分野において関連疾患の原因解明、新規診断法・治療方法・予防方法を萌芽できる科学的創造力を身につけた次世代研究者、および社会獣医科学を含む疫学分野において関連疾患をグローバルな視点で解析し、その結果を社会に還元できる科学的創造力を身につけた次世代研究者
- Evidenced Based-Veterinary Medicineを修得した次世代のTailor-Made Veterinary Medicineの担い手となるグローバルな臨床獣医師・動物看護師および最先端の獣医療をグローバルに展開できる次世代研究者

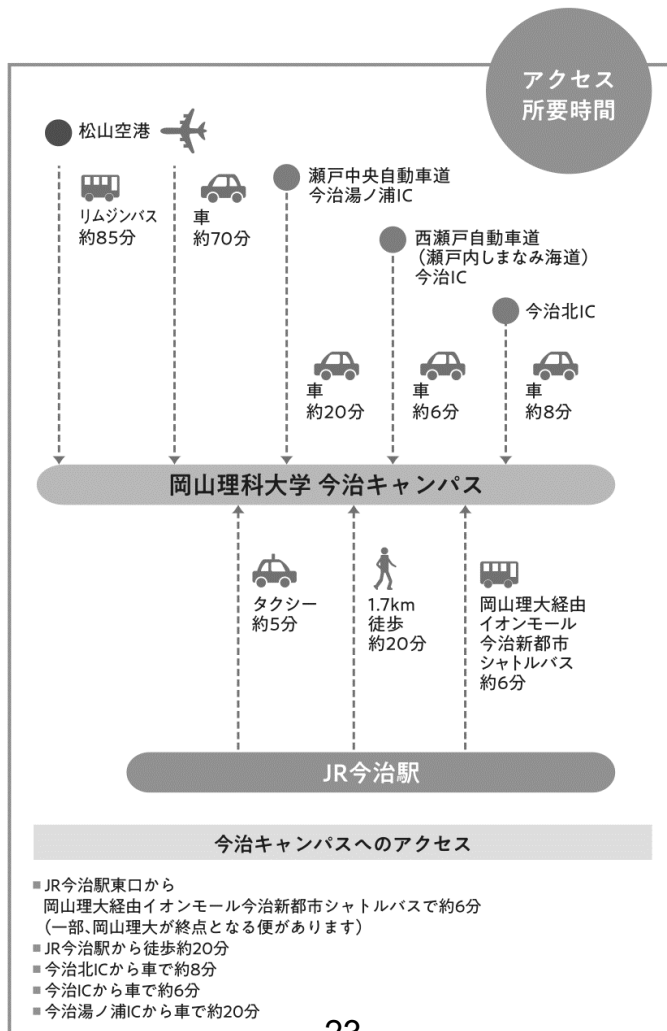
各専攻の概要



獣医保健看護学専攻 修士課程 (仮称)	獣医学専攻 博士課程 (仮称)
高度獣医療機関／ペット関連産業企業、製薬・食品・化粧品・動物実験受託研究機関など様々なバイオ・畜産関連企業や公立研究・検査機関の技術職・開発職・研究職／国家・地方公務員／動物園・水族館／博士課程進学など	国内外における高度獣医療機関／ペット関連産業企業、製薬・食品・化粧品・動物実験受託研究機関など様々なバイオ・畜産関連企業や公立研究・検査機関の技術職・開発職・研究職／国家・地方公務員／動物園・水族館／獣医学系・獣医保健看護学系・医学生命科学系大学教員など

本学・獣医学研究科(仮称)の各専攻と類似する他大学大学院の専攻等

獣医保健看護学専攻 修士課程 (仮称)	獣医学専攻 博士課程 (仮称)
酪農学園大学 (獣医保健看護学類) 日本獣医生命科学大学 (獣医学保健看護学専攻) 帝京科学大学 (アニマルサイエンス専攻) ヤマザキ動物看護大学 (動物看護学専攻) 広島大学 (大学院統合生命科学研究科) 岡山大学 (環境生命科学研究科) 愛媛大学 (農学研究科)	岐阜大学 (大学院共同獣医学研究科獣医学専攻) 大阪公立大学 (大学院生命環境学研究科獣医学専攻) 鳥取大学 (大学院共同獣医学研究科共同獣医学専攻) 山口大学 (大学院共同獣医学研究科獣医学専攻) 鹿児島大学 (大学院共同獣医学研究科獣医学専攻)



採用意向についてのアンケート調査回答画面(Web方式)

TOP画面⇒問1・問2・問3

岡山理科大学大学院

獣医学研究科 獣医学専攻 博士課程 (仮称・設置構想中)

獣医学研究科 獣医保健看護学専攻 修士課程 (仮称・設置構想中)

採用意向についてのアンケート調査
(対象：人事採用担当者様)

問1 貴機関・貴施設・貴社の所在地をお答えください。 **必須**

選択してください

問2 貴機関・貴施設・貴社の種別をお答えください。 **必須**

選択してください

問3 貴機関・貴施設・貴社にて勤務される獣医師、動物看護師（それぞれ有資格者含む）の勤務の有無をお答えください。（勤務されている場合、ご支障なければ勤務される人数を□に記載いただければ幸いです）

【獣医師】 **必須**

選択してください

【動物看護師】 **必須**

選択してください

獣医学研究科(仮称) 概要資料
※スクロールすることで全体閲覧可

アンケートにご回答いただく前に、下記・岡山理科大学大学院「獣医学研究科(仮称)」の概要をご覧ください。

岡山理科大学 大学院 獣医学研究科(仮称) 設置構想中

- 開 校 時 期： 2024年4月(予定)
- 開 校 場 所： 岡山理科大学中津キャンパス(倉敷県倉敷市)での仮1-C) ※アクセスは最優先
- 開 校 費 用 概 算： 入学費10万円、授業料43万円、実験実習費10万円、施設整備費10万円(計73万円)(予定)

獣医保健看護学専攻
 修士課程
 (仮称・設置構想中)

- 修業年限：3年
- 入学定員：5名(取得定員10名)
- 取得学位：修士(獣医保健看護学)

人間社会と密接な関係を持ち個人や社会を支える動物を管理するために必要な高度動物看護学または獣医関連科学の知識を有し、幅広い視点と最先端の研究戦略を用いて問題・課題を解決できる協調性・創造性豊かな獣医保健看護学専門家(動物看護師・獣医関連科学専門家)を養成します。

養成する人材

- 獣医学教育現場における看護実践や研究を担うエビデンスに基づいて問題・課題を解決できる高度動物看護専門家
- 公共獣医学、感染症、公衆衛生を扱う社会獣医学やライフサイエンス分野において学際的な視点から研究の計画・進行・発表を行うことができる社会獣医学者、ライフサイエンス研究者を含む獣医関連科学専門家 (VFP)

獣医学専攻
 博士課程
 (仮称・設置構想中)

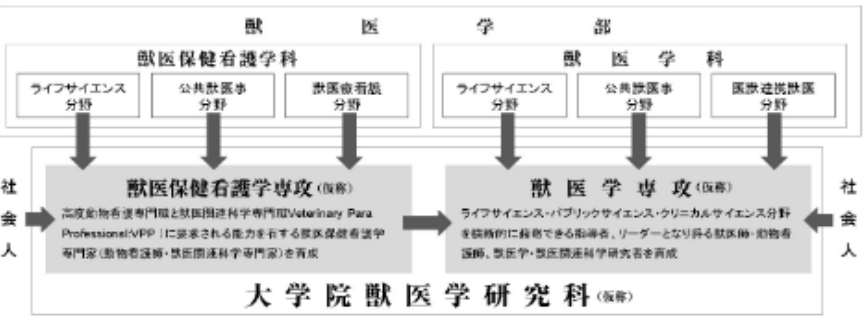
- 修業年限：4年
- 入学定員：3名(取得定員12名)
- 取得学位：博士(獣医学)

「One world, One health, One medicine」の精神に基づき、ライフサイエンス、パブリックサイエンス、クリニカルサイエンスを含む獣医学に基づく視点・手法を用いてグローバルに諸問題を解決できる協調性・創造性豊かな学際的指導者ならびに次世代研究者を養成します。

養成する人材

- 動物から人へのTranslation Research Mind: One World, One Health, One Medicineに立脚し、動物医療のみならず人医療を含めた療養の改善効率性、治療方法、予防方法を創発できる科学的創造力を身につけた次世代研究者
- 遺伝子解析分野、公衆衛生学分野、獣生化学分野において国産標準の遺伝診断、遺伝子診断、治療方法、予防方法を創発できる科学的創造力を身につけた次世代研究者、および社会獣医学を含む学際分野において関連疾患をグローバルな視点で解析し、その病態を社会に還元できる科学的創造力を身につけた次世代研究者
- Evidence Based Veterinary Medicineを修得し、次世代のEvident-Based Veterinary Medicineの担い手となるグローバルな臨床獣医師、動物看護士および最先端の獣医学をグローバルに展開できる次世代研究者

各専攻の概要



上記内容は構想中の内容であり、今後変更となる場合があります。

本学・獣医学研究科(仮称)を修了後の進路

獣医保健看護学専攻 修士課程(仮称)	獣医学専攻 博士課程(仮称)
高度獣医療機関/ペット関連産業企業、製薬・食品・化粧品、動物実験委託研究機関など様々なバイオ・畜産関連企業や公立研究、検査機関の技術職・開発職、研究職/国家、地方公務員/動物園、水族館/博士課程進学など	国内外における高度獣医療機関/ペット関連産業企業、製薬・食品・化粧品、動物実験委託研究機関など様々なバイオ、畜産関連企業や公立研究、検査機関の技術職、開発職、研究職/国家、地方公務員/動物園、水族館/獣医学系・獣医保健看護学系・医学生命科学系大学院員など

問4～問9

2ページ目 (全2ページ)

【「獣医学研究科 獣医学専攻 博士課程(仮称)」について】

問4 岡山理科大学が設置構想中の大学院「獣医学研究科 獣医学専攻 博士課程(仮称)」は社会的ニーズが高いと思われますか。 **必須**

選択してください



問5 岡山理科大学が設置構想中の大学院「獣医学研究科 獣医学専攻 博士課程(仮称)」が養成する人材を採用したいと思われますか。 **必須**

選択してください



問6 貴機関・貴施設・貴社で勤務されている獣医師や研究職に従事する方を岡山理科大学が設置構想中の大学院「獣医学研究科 獣医学専攻 博士課程(仮称)」に進学・入学させるご意向についてお答えください。 **必須**

選択してください



【「獣医学研究科 獣医保健看護学専攻 修士課程(仮称)」について】

問7 岡山理科大学が設置構想中の大学院「獣医学研究科 獣医保健看護学専攻 修士課程(仮称)」は社会的ニーズが高いと思われますか。 **必須**

選択してください



問8 岡山理科大学が設置構想中の大学院「獣医学研究科 獣医保健看護学専攻 修士課程(仮称)」が養成する人材を採用したいと思われますか。 **必須**

選択してください



問9 貴機関・貴施設・貴社で勤務されている動物看護師や研究職に従事する方を岡山理科大学が設置構想中の大学院「獣医学研究科 獣医保健看護学専攻 修士課程(仮称)」に進学・入学させるご意向についてお答えください。 **必須**

選択してください



問10

問 10 岡山理科大学が設置構想中の大学院「獣医学研究科 獣医学専攻 博士課程(仮称)」または「獣医学研究科 獣医保健看護学専攻 修士課程(仮称)」について期待される点、ご要望等がありましたら、ご自由にご記入ください。

任意

質問は以上となります。ご協力いただきありがとうございました。

送信

戻る

岡山理科大学大学院
「獣医学研究科（仮称）」
設置に係る学生確保の見通し調査
（入学意向についてのアンケート調査）
報告書

2023（令和5）年2月
株式会社高等教育総合研究所

岡山理科大学大学院
「獣医学研究科(仮称)」
設置に係る学生確保の見通し調査
(入学意向についてのアンケート調査)

報告書 目次

1. 入学意向についてのアンケート調査 実施概要	1
2. 入学意向についてのアンケート調査 集計結果	2
3. 入学意向についてのアンケート調査 集計結果ポイント	11
(添付資料)	17
入学意向についてのアンケート調査用紙(紙方式)	18
「獣医学研究科(仮称)」概要(紙方式)	21
入学意向についてのアンケート調査回答画面(Web方式)	23

1. 入学意向についてのアンケート調査 実施概要

調査対象	<p>岡山理科大学が2024(令和6)年度に設置構想中の大学院「獣医学研究科(仮称)」の「獣医学専攻 博士課程(仮称)」または「獣医保健看護学専攻 修士課程(仮称)」への入学が見込まれる、以下を対象にアンケートを実施または依頼した。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 岡山理科大学獣医学部獣医学科5年次生(2022年度時点。「獣医学専攻 博士課程(仮称)」開設時点で進学時期を迎える学部在生) ② 岡山理科大学獣医学部獣医保健看護学科3年次生(2022年度時点。「獣医保健看護学専攻 修士課程(仮称)」開設時点で進学時期を迎える学部在生) ③ 岡山理科大学大学院理学研究科動物学専攻1年次生(2022年度時点。「獣医学専攻 博士課程(仮称)」開設時点で進学時期を迎える大学院在生) ④ 岡山理科大学獣医学部の実習先・インターンシップ先または卒業予定者の内定先となっている愛媛県・周辺県をはじめ全国の動物病院、動物園・水族館、養牛場・養豚場・養鶏場、企業(製菓・食品・飼料)、行政機関(国家公務・地方公務)など、合計840箇所に勤務する獣医師または動物看護師
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 回答者の基本情報(居住地、勤務先・通学先、獣医師・動物看護師の場合の勤務年数、学生の場合の学年、保有する国家資格) ● 岡山理科大学大学院「獣医学研究科 獣医学専攻 博士課程(仮称)」への受験・入学意向 ● 岡山理科大学大学院「獣医学研究科 獣医保健看護学専攻 修士課程(仮称)」への受験・入学意向 他 <p>全13問で選択肢式12問、記述式1問(回答パターンにより設問数は異なる)。</p>
調査時期	2023(令和5)年2月
調査方法	<p>「調査対象」で示した①②③④に以下の方法で実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①②③ 教員より授業後に配布。その場で回答を促し、回収した。 ④ リストアップした対象先に、アンケート用紙・「獣医学研究科(仮称)」概要・返信用封筒ならびにWeb方式回答サイトQRコードを送付。ご協力いただける場合、紙方式は返送用封筒での返送、Web方式は指定サイトにアクセスの上で回答・送信いただく形とした(紙方式・Web方式いずれかのみの回答とした)。
回答件数	有効回答数357件

2. 入学意向についてのアンケート調査 集計結果

※「構成比」(%)はいずれも、小数点第二位を四捨五入。

問1 あなたが現在、お住まいの県をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

選択肢		回答数	構成比
1	愛媛県	163	45.7%
2	香川県	2	0.6%
3	徳島県	7	2.0%
4	高知県	4	1.1%
5	広島県	21	5.9%
6	岡山県	12	3.4%
7	その他	147	41.2%
	無回答	1	0.3%
合計		357	100.0%

問2 問2 あなたの現在の所属先(勤務先・通学先)についてお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

選択肢		回答数	構成比
1	動物病院	95	26.6%
2	動物園・水族館	17	4.8%
3	養牛場・養豚場・養鶏場	1	0.3%
4	企業(製薬)	0	0.0%
5	企業(食品)	1	0.3%
6	企業(飼料)	0	0.0%
7	国家公務	1	0.3%
8	地方公務	52	14.6%
9	獣医学系大学・学部(教員)	0	0.0%
10	獣医学系大学・学部(学生)	149	41.7%
11	その他	20	5.6%
	無回答	21	5.9%
合計		357	100.0%

※「その他」とした場合の記載内容は10ページ参照。

問3 現在、獣医師・動物看護師として勤務の方、関連分野の研究・教育職に従事の方におたずねします。以下の累計勤務年数を お答えください。
(あてはまるもの1つにマーク)

【獣医師・動物看護師としての累計勤務年数】

選択肢		回答数	構成比
1	2年未満	18	17.3%
2	2～4年	3	2.9%
3	5～9年	17	16.3%
4	10～14年	12	11.5%
5	15～19年	6	5.8%
6	20年以上	48	46.2%
合計		104	100.0%

※回答結果すべてを回答対象とした(問2結果にかかわらず)。

【獣医学・動物看護学関連の研究職または教育職】

選択肢		回答数	構成比
1	2年未満	19	70.4%
2	2～4年	1	3.7%
3	5～9年	1	3.7%
4	10～14年	3	11.1%
5	15～19年	0	0.0%
6	20年以上	3	11.1%
合計		27	100.0%

※回答結果すべてを回答対象とした(問2結果にかかわらず)。

問4 現在、獣医学系大学・学部(学生)の方におたずねします。あなたの在籍学年を お答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

選択肢		回答数	構成比
1	1年	5	3.2%
2	2年	0	0.0%
3	3年	55	35.7%
4	4年	0	0.0%
5	5年	94	61.0%
6	6年	0	0.0%
合計		154	100.0%

※問2で「獣医学系大学・学部(学生)」選択の149人及び「その他」選択のうち岡山理科大学大学院理学研究科動物学専攻修士課程1年5人が対象。

問5 あなたが保有される国家資格（学生の方の場合、取得予定を含む）をお答えいただいた上で、指定の設問にお進みください。（あてはまるもの1つにマーク）

選択肢		回答数	構成比
1	獣医師	244	68.3%
2	動物看護師	93	26.1%
3	上記のいずれも保有しない（取得予定ではない）	18	5.0%
	無回答	2	0.6%
合計		357	100.0%

以降は、岡山理科大学大学院「獣医学研究科（仮称）」概要を確認の上で回答を求めた。

問6は、問5で「獣医師」を選択した場合に回答対象。

問6 あなたは岡山理科大学大学院「獣医学研究科 獣医学専攻 博士課程（仮称）」を受験したいと思いますか。（あてはまるもの1つにマーク）

選択肢		回答数	構成比
1	受験したい	31	12.7%
2	受験しない	208	85.2%
	無回答	5	2.0%
合計		244	100.0%

問7・問8は、問6で「受験したい」を選択した場合に回答対象。

問7 岡山理科大学大学院「獣医学研究科 獣医学専攻 博士課程（仮称）」を受験し合格した場合、入学したいと思いますか。（あてはまるもの1つにマーク）

選択肢		回答数	構成比
1	入学したい	11	35.5%
2	状況によって入学を検討したい	20	64.5%
	無回答	0	0.0%
合計		31	100.0%

問8 あなたが岡山理科大学大学院「獣医学研究科 獣医学専攻 博士課程（仮称）」に「入学したい」または「状況によって入学を検討したい」とされた理由をお答えください。（最もあてはまるもの1つにマーク）

選択肢		回答数	構成比
1	臨床の現場で活かせる高度な専門知識の修得と研究力を高めたいので	15	48.4%
2	博士学位を取得し、キャリアアップを図りたいので	10	32.3%
3	将来、臨床の現場の指導者、指導的役割を担いたいので	1	3.2%
4	将来、教育者または研究者になりたいので	1	3.2%
5	その他	1	3.2%
	無回答	3	9.7%
合計		31	100.0%

問9は、問5で「動物看護師」を選択した場合に回答対象。

問9 あなたは岡山理科大学大学院「獣医学研究科 獣医保健看護学専攻 修士課程(仮称)」を受験したいと思いますか。(あてはまるもの1つにマーク)

選択肢		回答数	構成比
1	受験したい	14	15.1%
2	受験しない	58	62.4%
	無回答	21	22.6%
合計		93	100.0%

問10・問11は、問9で「受験したい」を選択した場合に回答対象。

問10 岡山理科大学大学院「獣医学研究科 獣医保健看護学専攻 修士課程(仮称)」を受験し合格した場合、入学したいと思いますか。(あてはまるもの1つにマーク)

選択肢		回答数	構成比
1	入学したい	6	42.9%
2	状況によって入学を検討したい	8	57.1%
	無回答	0	0.0%
合計		14	100.0%

問11 あなたが岡山理科大学大学院「獣医学研究科 獣医保健看護学専攻 修士課程(仮称)」に「入学したい」または「状況によって入学を検討したい」とされた理由をお答えください。(あてはまるもの全てにマーク)

選択肢		回答数	構成比
1	臨床の現場で活かせる高度な専門知識の修得と研究力を高めたいので	5	35.7%
2	修士学位を取得し、キャリアアップを図りたいので	4	28.6%
3	将来、臨床の現場の指導者、指導的役割を担いたいため	2	14.3%
4	将来、教育者または研究者になりたいので	3	21.4%
5	その他	0	0.0%

※複数回答の結果。構成比=各回答数÷回答対象者(問9で「受験したい」)

問12・問13は、問6または問9で「受験しない」を選択した場合に回答対象。

問12 あなたが岡山理科大学大学院「獣医学研究科 獣医学専攻 博士課程(仮称)」または「獣医学研究科 獣医保健看護学専攻 修士課程(仮称)」を「受験しない」とされた理由をお答えください。(あてはまるもの全てにマーク)

	選択肢	回答数	回答率
1	大学院に進学する必要性を感じないため	149	56.0%
2	岡山理科大学大学院「獣医学研究科(仮称)」に魅力を感じないため	44	16.5%
3	経済的、金銭的理由	65	24.4%
4	仕事が忙しいため	72	27.1%
5	子育て中のため	15	5.6%
6	家庭の事情	14	5.3%
7	その他	24	9.0%

※複数回答の結果。構成比＝各回答数÷(問6・問9で「受験しない」とした回答者の合計)

※「その他」とした場合の記載内容は10ページ参照。

問13 どのような条件が整えば大学院への進学を検討されるかご記入ください。

回答内容	
1	臨床医として働くときに大学卒業から働くことよりも大学院進学の方がよい理由に納得できたら。
2	カリキュラムの確立、奨学金
3	ライフプランを練るにあたり、修了が28才である以上候補に挙がらない 働きながら研修等で大学に関わる方が自分にとって現実的だと思う
4	経済的に妻子を養っていけるほどの収入が確保保証されれば
5	金銭面
6	金銭的な補助など
7	進学が必要だと思った時に検討する
8	学問に興味湧いたら。
9	博士号が必要になった時
10	自分が研究したい分野ができれば。
11	博士号取得支援制度の充実
12	現場で基本をある程度身につけて、より専門的知識を学ぶ時。(行動学やリハビリなど)
13	学費が安価
14	経済面が合えば検討したい
15	臨床研究を行う場合のみ
16	将来稼ぐ収入が行ってない人より高くなる
17	自分が学びたい分野が揃えば行きたいです。
18	行く理由を見つけたら行こうと思います。
19	働かずに勉強をさらにつづける必要性を感じたら行きたいと考える
20	エキゾを勉強できる
21	研究したいこと。もっと勉強したいという気持ち。半額までとは言わないが金銭の補助。以上があれば行くかもしれません
22	興味のある研究内容
23	大学院に行くメリットが知りたい

回答内容	
24	金銭の援助 学ぶ範囲、内容の拡大
25	自分がしたいと思える研究に出会うこと。
26	金銭的な援助
27	大学院進学後の就職への支援があれば良いと思います。 (現在では不明瞭で不安なため)
28	仕事を休んだり、交通費の負担が重くなければ可能かと思われませんが現実は無理かと。 遠隔での研究やウェブで参加、所属できると社会人大学院生も
29	人手不足が改善されれば考えたい。
30	(1) 移住先の環境情報の把握(住みやすさ、買物場所か通勤状況) (2) 岡山理科大学大学院で学べる(研究後の)具体的な内容の明示 (2)は、各大学で似たりよったりも多く、差別化が困難になってきているため(1)と併せて情報提供を行うとよいかと
31	将来的な雇用の保証
32	大動物の研究施設が整えば
33	お金と時間に余裕があったら受験したいです。
34	他大学院にはない独自の可能背と、開かれた学術環境の整備。 これからの時代に則した研修、勉強の方法、環境をつくって頂きたい。
35	進学費用<キャリアアップ時による収入増
36	休職中の保障や取得までの経費と取得後の収入を比較したときの必要性を考慮し受験はしない。 また、貴校が考える構想の具体性がわからないため
37	距離が近ければ通いやすい
38	心の底から研究したいと熱望できるテーマに出会えた時、その研究に使命感を持った時、進学を検討するかもしれません。
39	大学の隣に動物病院が併設されていれば行きたいです。 授業料が安ければ行きます。
40	何か獣医学分野で勉強したいと思えるものが出れば検討します。
41	自分が研究したい分野と大学院で行なえる研究内容が合致していることが重要。(今の段階では見えない) 現在問題となっている病院に対する予防策の一助となる研究があれば… 仕事との両立。
42	子育てが落ちつき、必要性を感じたら検討したいです。
43	大学院(博士課程)に進学する必要が生じた場合。
44	臨床獣医師として学位に必要性を感じない。 学位を取得し、臨床を離れていく同僚を見てきたが、 現場は大変な思いをした。
45	自分の研究したい分野をその大学でしか勉強できない、あるいは、 人材、設備、施設が整っている場合、検討したいです。
46	金銭的、時間的余裕があれば大学院への進学を検討したい。 もう少し、臨床経験をつみたい。

回答内容	
47	HP上の教員の実績を豊富にする 現在ではどの分野を重視しているかが不明瞭である
48	業務上修得が必要な資格・技術・知識が生じ、それが進学により適えられる場合
49	手当や補助など 勉強時間などのサポート

問2(現在の所属先)で「その他」の場合に記載があった内容 ※【 】内数字は件数

大学院修士【5】
農業共済組合【12】
農業共済組合の獣医師
農業協同組合【2】
酪農組合
団体職員
家畜診療所
短大(教員)【3】
牛受精卵の生産
動物輸入卸業
競走馬育成牧場
動物看護系
専門学校【3】
動物系職業専門学校
動物系専修学校

問12(岡山理科大学大学院「獣医学研究科 獣医学専攻 博士課程(仮称)」または「獣医学研究科 獣医保健看護学専攻 修士課程(仮称)」を「受験しない」とした理由)で「その他」の場合に記載があった内容 ※原文まま

社会に出るのが遅れてしまう不安
卒業後、動物病院で働く予定だから
就職内定をもらっている
卒業後は、臨床現場で働きたいため
臨床に出たいから
臨床現場に出て技術を身につけたい
働きたい。自立したい。
私立の大学院に行く必要性がない
臨床現場でエキゾチックアニマルの勉強をしたい
移住に関連した情報の不足
大動物(牛)の診療をしているので
どのような分野に特化しているのか明らかではないため
まだ実績がないため
高齢のため
遠方のため
繁殖関係を学びたいため
すでに大学院に通っているため
出身大学の大学院を受験する。
他大学で学位を取得した、他の分野(基礎医学)の研究に従事している
社会人としての入学、研究に興味がないわけではないのですが、現住所からの距離が遠すぎると考えます。
年齢的なものと、これまでに十分な経験を積んでいるため
既に他大学院で博士課程を修了しているため
近場に獣医大がある

3. 入学意向についてのアンケート調査 集計結果ポイント

①回答者の基本情報

Point 1 岡山理科大学獣医学部在学生の他、動物病院、地方公務、動物園・水族館等で勤務する現職の獣医師・動物看護師等、合計357人が回答。

岡山理科大学が2024(令和6)年度に設置構想中の大学院「獣医学研究科(仮称)」の「獣医学専攻 博士課程(仮称)」および「獣医保健看護学専攻 修士課程(仮称)」の学生確保の見通しを検証するため、入学意向アンケート調査を実施し、357人から回答を得た。

回答者の居住地として最も多かったのは「愛媛県」163人(45.7%)で、「香川県」2人(0.6%)、「徳島県」7人(2.0%)、「高知県」4人(1.1%)と合計すると、四国地方では176人(49.3%)であった。また、「その他」147人(41.2%)、「広島県」21人(5.9%)、「岡山県」12人(3.4%)であった(グラフ1)。

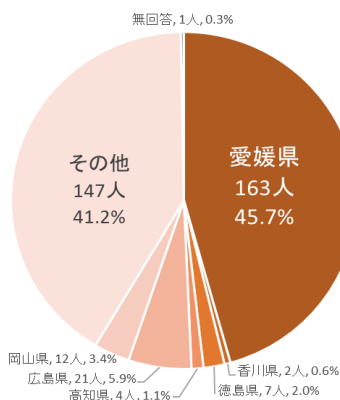
回答者の所属先として最も多かったのは「獣医学系大学・学部(学生)」149人(41.7%/岡山理科大学獣医学部獣医学科3年生および獣医保健看護学科3年生)で、以下「動物病院」95人(26.6%)、「地方公務」52人(14.6%)、「動物園・水族館」17人(4.8%)などであった(グラフ2)。

獣医師・動物看護としての累計勤務年数は「20年以上」48人が最も多く、他に「2年未満」18人、「5～9年」17人、「10～14年」12人などであった(グラフ3-1)。獣医学・動物看護学関連の研究職又は教育職としての累計勤務年数は「2年未満」19人が最も多く、他に「20年以上」「10～14年」各3人、「5～9年」「2～4年」各1人であった(グラフ3-2)。

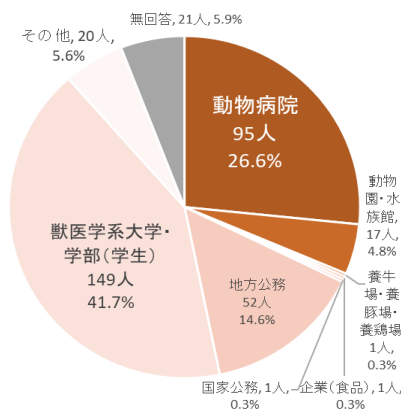
獣医学系大学・学部学生の場合の学年は「5年」94人(岡山理科大学獣医学部獣医学科5年生)、「3年」55人(岡山理科大学獣医学部獣医保健看護学科3年生)、「1年」5人(岡山理科大学大学院理学研究科動物学専攻修士課程1年生)であった(次頁グラフ4)。

回答者の保有免許(取得見込み含む)については「獣医師」244人(68.3%)、「動物看護師」93人(26.1%)であった(次頁グラフ5)。

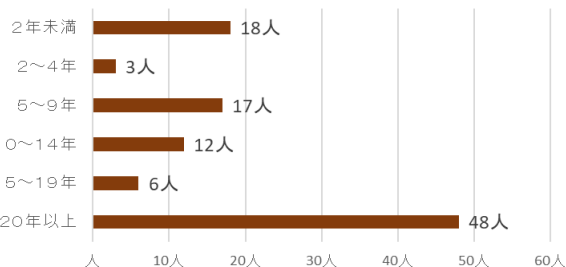
グラフ1: 回答者の居住地(問1結果より)



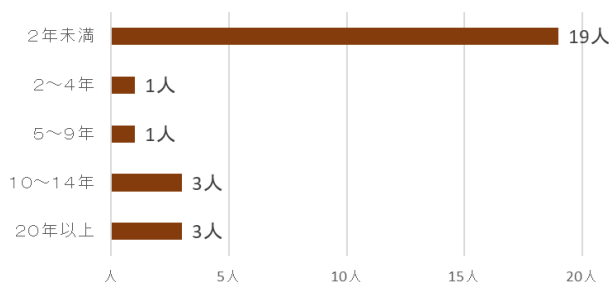
グラフ2: 回答者の所属先(問2結果より)



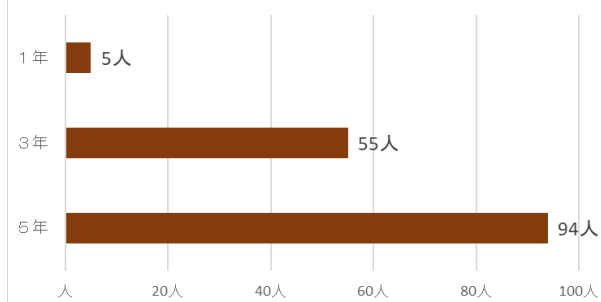
グラフ3-1: 獣医師・動物看護師としての累計勤務年数(問3より)



グラフ3-2: 獣医学・動物看護学関連の研究職又は教育職としての累計勤務年数(問3より)



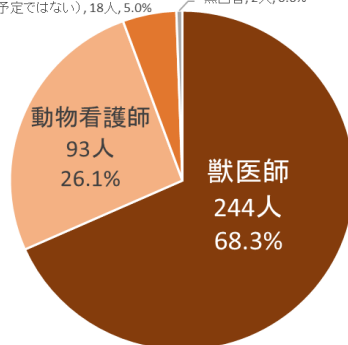
グラフ4: 獣医学系大学・学部学生の場合の学年(問4より)



グラフ5: 保有する国家資格※見込み含む(問5結果より)

上記のいずれも保有しない(取得予定ではない), 18人, 5.0%

無回答, 2人, 0.6%



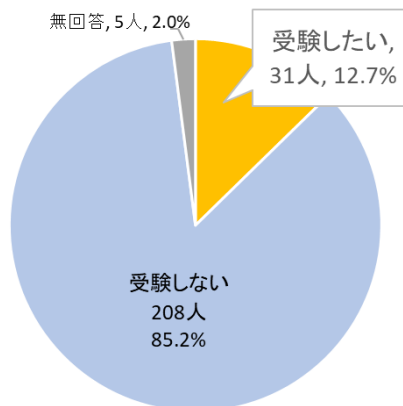
②岡山理科大学大学院「獣医学研究科 獣医学専攻 博士課程(仮称)」
受験・入学意向について

Point 2 岡山理科大学大学院「獣医学研究科 獣医学専攻 博士課程(仮称)」(入学定員3名)に対し、獣医学科生に留まらず、現場で活躍する獣医師を含め合計31人が受験・入学意向を示す。

岡山理科大学大学院「獣医学研究科(仮称)」の概要を提示した上で、獣医師免許取得者または取得予定者を含む合計244人に対し「獣医学専攻 博士課程(仮称)」の受験・入学意向について回答を求めた。結果、「受験したい」としたのは31人(回答対象者の12.7%)であった(グラフ6)。その上で、「獣医学専攻 博士課程(仮称)」が予定する入学定員3名を上回る11人が「入学したい」とし、別途20人が「状況によって入学を検討したい」とした(グラフ7)。

なお、「獣医学専攻 博士課程(仮称)」を「受験したい」とした31人の属性について明らかにするために、次頁表1のごとくクロス集計を行っている。「入学したい」とした11人のうち、3人は岡山理科大学獣医学部獣医学科5年、2人は岡山理科大学大学院理学研究科動物学専攻1年生である。この他の6人は社会人で4人は動物病院に勤務し、1人が愛媛県内、3人がその他の地域在住である。残り2人は地方公務で、1人が愛媛県内、残り1人が高知県在住である。「状況によって入学を検討したい」とした20人のうち、5人は岡山理科大学獣医学部獣医学科5年生、残り15人のうち13人が社会人で6人が動物病院、各2人が地方公務および動物園・水族館、各1人が養牛場・養豚場・養鶏場、農業共済組合、農協勤務であった。このように、岡山理科大学大学院「獣医学研究科(仮称)」はその基礎となる獣医学部以外で、臨床経験・実務経験を経た獣医師においても幅広く進学需要があることが明らかとなった。(次頁表1)。

グラフ6: 岡山理科大学大学院
「獣医学研究科 獣医学専攻 博士課程(仮称)」
受験意向(問6結果より)



グラフ7: 岡山理科大学大学院「獣医学研究科 獣医学専攻 博士課程(仮称)」
入学意向の状況(問7結果より/一部、問6結果より)

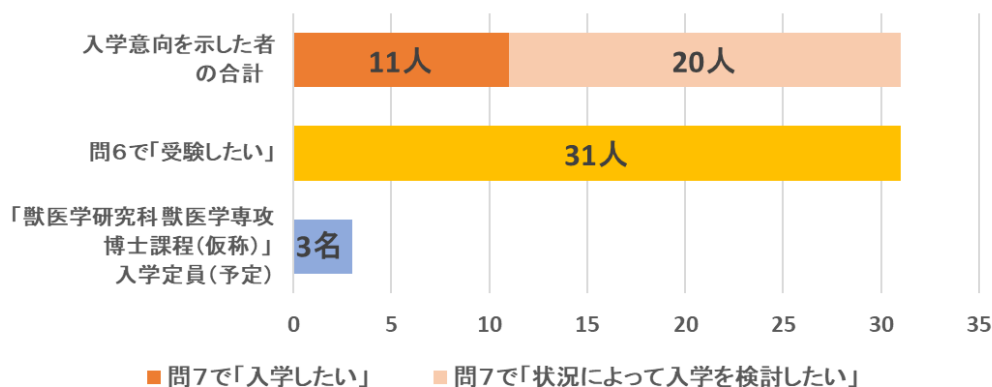


表1 「獣医学研究科 獣医学専攻 博士課程(仮称)」に受験意向を示した回答者の属性に係るクロス集計結果(問1・2・5・6・7結果より)

	入学意向	居住地	所属先	保有免許(予定含む)
1	入学したい	その他	岡山理科大学獣医学部獣医学科5年	獣医師
2	入学したい	その他	岡山理科大学獣医学部獣医学科5年	獣医師
3	入学したい	その他	岡山理科大学獣医学部獣医学科5年	獣医師
4	入学したい	愛媛県	岡山理科大学大学院理学研究科動物学専攻1年	動物看護師
5	入学したい	愛媛県	岡山理科大学大学院理学研究科動物学専攻1年	動物看護師
6	入学したい	愛媛県	動物病院	獣医師
7	入学したい	愛媛県	地方公務	獣医師
8	入学したい	高知県	地方公務	獣医師
9	入学したい	その他	動物病院	獣医師
10	入学したい	その他	動物病院	獣医師
11	入学したい	その他	動物病院	獣医師
1	状況によって入学を検討したい	愛媛県	岡山理科大学獣医学部獣医学科5年	獣医師
2	状況によって入学を検討したい	愛媛県	岡山理科大学獣医学部獣医学科5年	獣医師
3	状況によって入学を検討したい	愛媛県	岡山理科大学獣医学部獣医学科5年	獣医師
4	状況によって入学を検討したい	その他	岡山理科大学獣医学部獣医学科5年	獣医師
5	状況によって入学を検討したい	その他	岡山理科大学獣医学部獣医学科5年	獣医師
6	状況によって入学を検討したい	愛媛県	地方公務	獣医師
7	状況によって入学を検討したい	愛媛県	地方公務	獣医師
8	状況によって入学を検討したい	徳島県	動物病院	獣医師
9	状況によって入学を検討したい	徳島県	(未回答)	獣医師
10	状況によって入学を検討したい	広島県	動物病院	獣医師
11	状況によって入学を検討したい	その他	動物病院	獣医師
12	状況によって入学を検討したい	その他	動物病院	獣医師
13	状況によって入学を検討したい	その他	動物病院	獣医師
14	状況によって入学を検討したい	その他	動物病院	獣医師
15	状況によって入学を検討したい	その他	動物園・水族館	獣医師
16	状況によって入学を検討したい	その他	動物園・水族館	獣医師
17	状況によって入学を検討したい	その他	養牛場・養豚場・養鶏場	獣医師
18	状況によって入学を検討したい	その他	その他(農業共済組合)	獣医師
19	状況によって入学を検討したい	その他	その他(農協)	獣医師
20	状況によって入学を検討したい	その他	その他(内容未記載)	獣医師

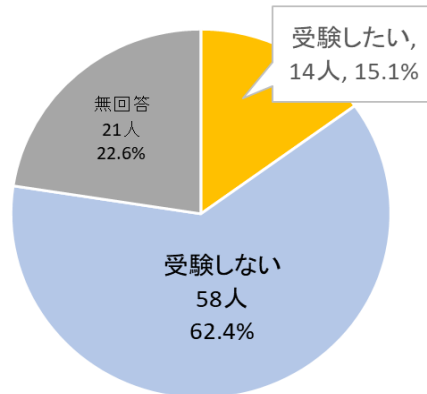
③岡山理科大学大学院「獣医学研究科 獣医保健看護学専攻 修士課程(仮称)」 受験・入学意向について

Point 3 岡山理科大学大学院「獣医学研究科 獣医保健看護学専攻 修士課程(仮称)」(入学定員5名)に対し、獣医保健看護学科生に留まらず、現場で活躍する動物看護師を含め合計14人が受験・入学意向を示す。

岡山理科大学大学院「獣医学研究科(仮称)」の概要を提示した上で、動物看護師免許取得者または取得予定者を含む合計93人に対し「獣医保健看護学専攻 修士課程(仮称)」の受験・入学意向について回答を求めた。結果、「受験したい」としたのは14人(回答対象者の15.1%)であった(グラフ9)。その上で、「獣医保健看護学専攻 修士課程(仮称)」が予定する入学定員5名を上回る6人が「入学したい」とし、別途8人が「状況によって入学を検討したい」とした(グラフ10)。

なお、「獣医保健看護学専攻 修士課程(仮称)」を「受験したい」とした14人の属性について明らかにするために、次頁表2のごとくクロス集計を行っている。「入学したい」とした6人のうち、1人は岡山理科大学獣医学部獣医保健看護学科3年、4人が動物病院勤務で、3人が愛媛県、もう1人が高知県在住である。また1人が動物系職業専門学校勤務で広島県在住である。「状況によって入学を検討したい」とした8人のうち、4人は岡山理科大学獣医学部獣医保健看護学科3年生であった。3人が動物病院勤務で、1人が愛媛県、2人がその他在住であった。残り1人が動物園・水族館勤務で、香川県在住であった。このように、岡山理科大学大学院「獣医学研究科(仮称)」はその基礎となる獣医学部以外で、臨床経験・実務経験を経た動物看護師においても幅広く進学需要があることが明らかとなった。(次頁表2)。

グラフ9: 岡山理科大学大学院
「獣医学研究科 獣医保健看護学専攻
修士課程(仮称)」受験意向(問9結果より)



グラフ10: 岡山理科大学大学院「獣医学研究科 獣医保健看護学専攻 修士課程(仮称)」
入学意向の状況(問10結果より/一部、問9結果より)

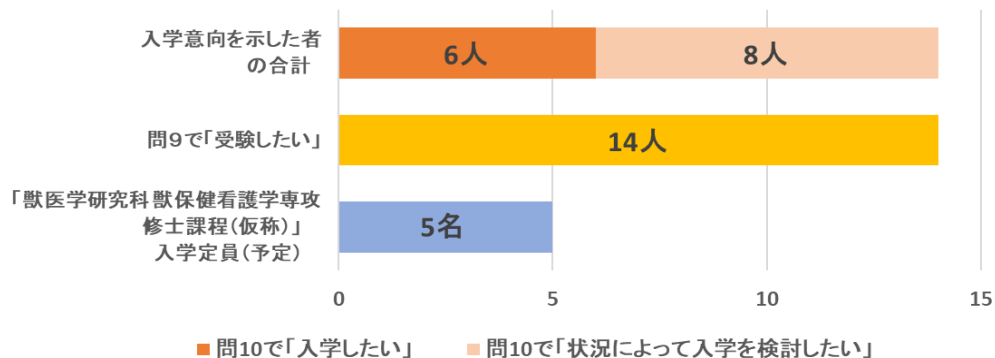


表2 「獣医学研究科 獣医保健看護学専攻 修士課程(仮称)」に受験意向を示した回答者の属性に係るクロス集計結果(問1・2・5・9・10結果より)

	入学意向	居住地	所属先	保有免許(予定含む)
1	入学したい	愛媛県	岡山理科大学獣医学部獣医保健看護学科3年	動物看護師
2	入学したい	愛媛県	動物病院	動物看護師
3	入学したい	愛媛県	動物病院	動物看護師
4	入学したい	愛媛県	動物病院	動物看護師
5	入学したい	香川県	動物病院	動物看護師
6	入学したい	広島県	動物系職業専門学校	動物看護師
1	状況によって入学を検討したい	愛媛県	岡山理科大学獣医学部獣医保健看護学科3年	動物看護師
2	状況によって入学を検討したい	愛媛県	岡山理科大学獣医学部獣医保健看護学科3年	動物看護師
3	状況によって入学を検討したい	広島県	岡山理科大学獣医学部獣医保健看護学科3年	動物看護師
4	状況によって入学を検討したい	広島県	岡山理科大学獣医学部獣医保健看護学科3年	動物看護師
5	状況によって入学を検討したい	愛媛県	動物病院	動物看護師
6	状況によって入学を検討したい	香川県	動物園・水族館	動物看護師
7	状況によって入学を検討したい	その他	動物病院	動物看護師
8	状況によって入学を検討したい	その他	動物病院	動物看護師

(添付資料)



岡山理科大学大学院

獣医学研究科 獣医学専攻 博士課程(仮称・設置構想中)

獣医学研究科 獣医保健看護学専攻 修士課程(仮称・設置構想中)

入学意向についてのアンケート調査

(対象：獣医師の皆様、動物看護師の皆様、研究職に従事の皆様、大学獣医学部の教員・学生の皆様)



- ・上の記入例を参考に、黒鉛筆またはシャープペンでご回答ください。
- ・誤って記入した回答は消しゴムでしっかりと消してください。

問1 あなたが現在、お住まいの県をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

- 愛媛県
 香川県
 徳島県
 高知県
 広島県
 岡山県
 その他

問2 あなたの現在の所属先(勤務先・通学先)についてお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

- | | | |
|-------------------------------------|-------------------------------|--|
| <input type="radio"/> 動物病院 | <input type="radio"/> 動物園・水族館 | <input type="radio"/> 養牛場・養豚場・養鶏場 |
| <input type="radio"/> 企業(製薬) | <input type="radio"/> 企業(食品) | <input type="radio"/> 企業(飼料) |
| <input type="radio"/> 国家公務 | <input type="radio"/> 地方公務 | <input type="radio"/> 獣医学系大学・学部(教員) |
| <input type="radio"/> 獣医学系大学・学部(学生) | <input type="radio"/> その他 | <input style="width: 100px; height: 20px;" type="text"/> |

問3 現在、獣医師・動物看護師として勤務の方、関連分野の研究・教育職に従事の方におたずねします。以下の累計勤務年数をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

【獣医師・動物看護師としての累計勤務年数】

- 2年未満
 2～4年
 5～9年
 10～14年
 15～19年
 20年以上

【獣医学・動物看護学関連の研究職または教育職】

- 2年未満
 2～4年
 5～9年
 10～14年
 15～19年
 20年以上

問4 現在、獣医学系大学・学部の学生の方におたずねします。あなたの在籍学年をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

- 1年
 2年
 3年
 4年
 5年
 6年





問5 あなたが保有される国家資格（学生の方の場合、取得予定を含む）をお答えいただいた上で、指定の設問にお進みください。（あてはまるもの1つにマーク）

- 獣医師 ⇒ 問6以降にお答えください。
- 動物看護師 ⇒ 問9以降にお答えください。
- 上記のいずれも保有しない（取得予定ではない）⇒ 質問は以上となります。協力いただき、ありがとうございました。

問6以降は別紙・岡山理科大学大学院「獣医学研究科(仮称)」概要 をご覧ください。

以下の問6は、問5で「獣医師」を選択された方がご回答ください。

問6 あなたは岡山理科大学大学院「獣医学研究科 獣医学専攻 博士課程(仮称)」を受験したいと思いますか。（あてはまるもの1つにマーク）

- 受験したい ⇒ 問7・問8にお答えください。
- 受験しない ⇒ 問12・問13にお答えください。

【以下の問7・問8は、問6で「受験したい」を選択された方がご回答ください。】

問7 岡山理科大学大学院「獣医学研究科 獣医学専攻 博士課程(仮称)」を受験し合格した場合、入学したいと思いますか。（あてはまるもの1つにマーク）

- 入学したい
- 状況によって入学を検討したい

問8 あなたが岡山理科大学大学院「獣医学研究科 獣医学専攻 博士課程(仮称)」に「入学したい」または「状況によって入学を検討したい」とされた理由をお答えください。（最もあてはまるもの1つにマーク）

- 臨床の現場で活かせる高度な専門知識の修得と研究力を高めたいので
- 博士学位を取得し、キャリアアップを図りたいので
- 将来、臨床の現場の指導者、指導的役割を担いたいので
- 将来、教育者または研究者になりたいので
- その他

以下の問9は、問5で「動物看護師」を選択された方がご回答ください。

問9 あなたは岡山理科大学大学院「獣医学研究科 獣医保健看護学専攻 修士課程(仮称)」を受験したいと思いますか。（あてはまるもの1つにマーク）

- 受験したい ⇒ 問10・問11にお答えください。
- 受験しない ⇒ 問12・問13にお答えください。





【以下の問10・問11は、問9で「受験したい」を選択された方がご回答ください。】

問10 岡山理科大学大学院「獣医学研究科 獣医保健看護学専攻 修士課程(仮称)」を受験し合格した場合、入学したいと思いますか。
(あてはまるもの1つにマーク)

- 入学したい 状況によって入学を検討したい

問11 あなたが岡山理科大学大学院「獣医学研究科 獣医保健看護学専攻 修士課程(仮称)」に「入学したい」または「状況によって入学を検討したい」とされた理由をお答えください。(あてはまるもの全てにマーク)

- 臨床の現場で活かせる高度な専門知識の修得と研究力を高めたいので
 修士学位を取得し、キャリアアップを図りたいので 将来、臨床の現場の指導者、指導的役割を担いたいので
 将来、教育者または研究者になりたいので その他

問12・問13は、問6または問9で「受験しない」とした方がお答えください。

問12 あなたが岡山理科大学大学院「獣医学研究科 獣医学専攻 博士課程(仮称)」または「獣医学研究科 獣医保健看護学専攻 修士課程(仮称)」を「受験しない」とされた理由をお答えください。(あてはまるもの全てにマーク)

- 大学院に進学する必要性を感じないため 岡山理科大学大学院「獣医学研究科(仮称)」に魅力を感じないため
 経済的、金銭的理由 仕事が忙しいため 子育て中のため 家庭の事情
 その他

問13 どのような条件が整えば大学院への進学を検討されるかご記入ください。

質問は以上となります。ご協力をいただき、ありがとうございました。



岡山理科大学 獣医学研究科（仮称）

設置構想中

- 開設時期： 2024年4月(予定)
- 開設場所： 岡山理科大学今治キャンパス(愛媛県今治市いこいの丘1-3) ※アクセスは裏面参照
- 初年次納付金： 入学金10万円、授業料42万円、実験実習費10万円、施設設備費10万円(計72万円)(予定)

獣医保健看護学専攻

修士課程

(仮称・設置構想中)

- 修業年限： 2年
- 入学定員： 5名(収容定員10名)
- 取得学位： 修士(獣医保健看護学)

人間社会と密接な関係を持ち個人や社会を支える動物を管理するために必要な高度動物看護学または獣医関連科学の知識を有し、幅広い視点と最先端の研究戦略を用いて問題・課題を解決できる協調性・創造性豊かな獣医保健看護学専門家（動物看護師・獣医関連科学専門家）を養成します。

養成する人材

- 獣医学教育病院等における看護実践や研究を通じてエビデンスに基づいて問題・課題を解決できる高度動物看護専門家
- 公共獣医事・感染症・公衆衛生を扱う社会獣医科学やライフサイエンス分野において学際的な視点から研究の計画・遂行・考察を行うことができる社会獣医科学者・ライフサイエンス研究者を含む獣医関連科学専門家（VPP）

獣医学専攻

博士課程

(仮称・設置構想中)

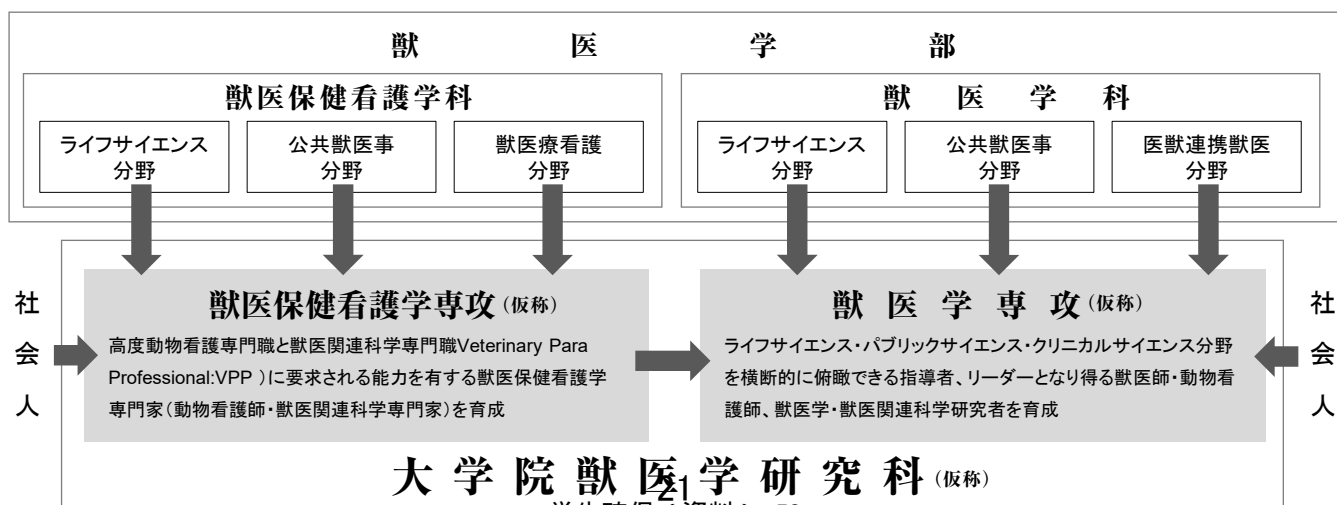
- 修業年限： 4年
- 入学定員： 3名(収容定員12名)
- 取得学位： 博士(獣医学)

「One world, One health, One medicine」の精神に基づき、ライフサイエンス、パブリックサイエンス、クリニカルサイエンスを含む獣医学に基づく視点・手法を用いてグローバルに諸問題を解決できる協調性・創造性豊かな学際的指導者ならびに次世代研究者を養成します。

養成する人材

- 動物から人へのTranslation Research Mind: One World, One Health, One Medicineに立脚した動物医療のみならず人医療を含めた疾患の新規診断法・治療方法・予防方法を萌芽できる科学的創造力を身につけた次世代研究者
- 感染症学分野・公衆衛生学分野・衛生学分野において関連疾患の原因解明、新規診断法・治療方法・予防方法を萌芽できる科学的創造力を身につけた次世代研究者、および社会獣医科学を含む疫学分野において関連疾患をグローバルな視点で解析し、その結果を社会に還元できる科学的創造力を身につけた次世代研究者
- Evidenced Based-Veterinary Medicineを修得した次世代のTailor-Made Veterinary Medicineの担い手となるグローバルな臨床獣医師・動物看護師および最先端の獣医療をグローバルに展開できる次世代研究者

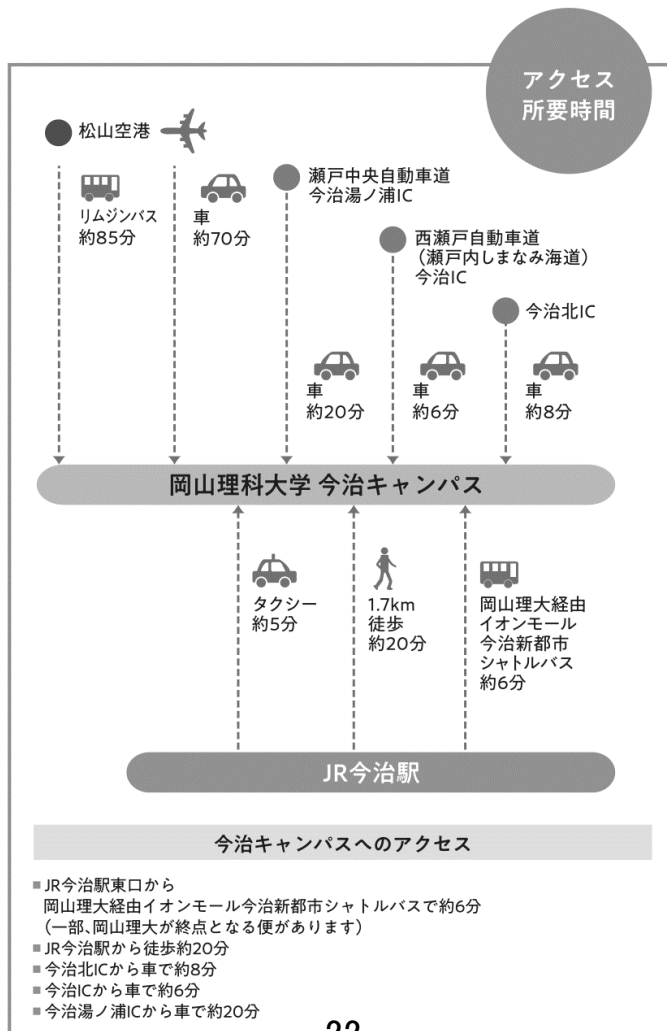
各専攻の概要



獣医保健看護学専攻 修士課程 (仮称)	獣医学専攻 博士課程 (仮称)
高度獣医療機関／ペット関連産業企業、製薬・食品・化粧品・動物実験受託研究機関など様々なバイオ・畜産関連企業や公立研究・検査機関の技術職・開発職・研究職／国家・地方公務員／動物園・水族館／博士課程進学など	国内外における高度獣医療機関／ペット関連産業企業、製薬・食品・化粧品・動物実験受託研究機関など様々なバイオ・畜産関連企業や公立研究・検査機関の技術職・開発職・研究職／国家・地方公務員／動物園・水族館／獣医学系・獣医保健看護学系・医学生命科学系大学教員など

本学・獣医学研究科(仮称)の各専攻と類似する他大学大学院の専攻等

獣医保健看護学専攻 修士課程 (仮称)	獣医学専攻 博士課程 (仮称)
酪農学園大学 (獣医保健看護学類) 日本獣医生命科学大学 (獣医学保健看護学専攻) 帝京科学大学 (アニマルサイエンス専攻) ヤマザキ動物看護大学 (動物看護学専攻) 広島大学 (大学院統合生命科学研究科) 岡山大学 (環境生命科学研究科) 愛媛大学 (農学研究科)	岐阜大学 (大学院共同獣医学研究科獣医学専攻) 大阪公立大学 (大学院生命環境学研究科獣医学専攻) 鳥取大学 (大学院共同獣医学研究科共同獣医学専攻) 山口大学 (大学院共同獣医学研究科獣医学専攻) 鹿児島大学 (大学院共同獣医学研究科獣医学専攻)



入学意向についてのアンケート調査回答画面(Web方式)

TOP画面

1ページ目 (全2ページ)

岡山理科大学大学院

獣医学研究科 獣医学専攻 博士課程(仮称・設置構想中)

獣医学研究科 獣医保健看護学専攻 修士課程(仮称・設置構想中)

入学意向についてのアンケート調査

(対象：獣医師の皆様、動物看護師の皆様、研究職に従事の皆様、大学獣医学部の教員・学生の皆様)

規約に同意する **必須**

本アンケートはお一人につき、一回までとなります。

同意する

規約に同意の上チェックしてください

次へ

問1・問2・問3・問4・問5

2ページ目 (全2ページ)

問1 あなたが現在、お住まいの県をお答えください。 **必須**

選択してください

問2 あなたの現在の所属先（勤務先・通学先）についてお答えください。

必須

選択してください

問3 現在、獣医師・動物看護師として勤務の方、関連分野の研究・教育職に従事の方におたずねします。以下の累計勤務年数をお答えください。

【獣医師・動物看護師としての累計勤務年数】 **任意**

選択してください

【獣医学・動物看護学関連の研究職または教育職】 **任意**

選択してください

問4 現在、獣医学系大学・学部の学生の方におたずねします。あなたの在籍学年をお答えください。 **任意**

選択してください

問5 あなたが保有される国家資格（学生の方の場合、取得予定を含む）をお答えいただいた上で、指定の設問にお進みください。 **必須**

選択してください

質問は以上となります。ご協力をいただき、ありがとうございました。

送信

戻る

獣医学研究科 獣医学専攻 博士課程(仮称) 概要資料
(問5で「獣医師」または「動物看護師」を選択すると表示)

問5 あなたが保有される国家資格(学生の方の場合、取得予定を含む)をお答えいただいた上で、指定の設問にお進みください。 **必須**

獣医師 ✔ ▼

アンケートにご回答いただく前に、下記・岡山理科大学大学院「獣医学研究科(仮称)」の概要をご覧ください。

岡山理科大学 大学院 獣医学研究科(仮称) 設置構想中

- 開 校 時 期： 2024年4月(予定)
- 開 校 場 所： 岡山理科大学中津キャンパス(倉敷県倉敷市伊川の庄1-3) ※アクセスは最優条件
- 開 校 費 用 概 算： 入学費10万円、授業料43万円、実験実習費10万円、施設整備費10万円(計73万円)(予定)

獣医保健看護学専攻
修 士 課 程
 (仮 称 ・ 設 置 構 想 中)

- 修業年数：3年
- 入学定員：5名(取得定員10名)
- 修得学位：修士(獣医保健看護学)

人間社会と密接な関係を持ち個人や社会を支える動物を管理するために必要な高度動物看護学または獣医関連科学の知識を有し、幅広い視点と最先端の研究戦略を用いて問題・課題を解決できる協調性・創造性豊かな獣医保健看護学専門家(動物看護師・獣医関連科学専門家)を養成します。

養成する人材

- 獣医学教育研究等における看護実践や研究を担うエビデンスに基づいて問題・課題を解決できる高度動物看護学専門家
- 公共獣医事・感染症・公衆衛生を扱う社会獣医科学やライフサイエンス分野において学際的な視点から研究の計画・進行・考案を行うことができる社会獣医科学者・ライフサイエンス研究者を含む獣医関連科学専門家 (VPP)

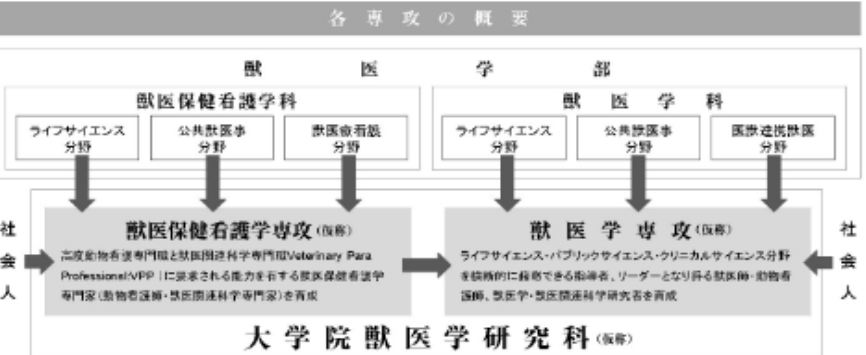
獣 医 学 専 攻
博 士 課 程
 (仮 称 ・ 設 置 構 想 中)

- 修業年数：4年
- 入学定員：3名(取得定員10名)
- 修得学位：博士(獣医学)

「One world, One health, One medicine」の精神に基づき、ライフサイエンス、パブリックサイエンス、クリニカルサイエンスを含む獣医学に基づく視点・手法を用いてグローバルに諸問題を解決できる協調性・創造性豊かな学際的指導者ならびに次世代研究者を養成します。

養成する人材

- 動物から人へのTranslation Research Mind: One World, One Health, One Medicineに立脚し、動物医療のみならず人医療を含めた最新の動物医療法・治療方法・手術方法を創発できる科学的創造力を身につけた次世代研究者
- 獣医保健分野・公衆衛生分野・衛生学分野において国際標準の疾患診断・病態診断法・治療方法・予防方法を創発できる科学的創造力を身につけた次世代研究者、および社会獣医科学を含む学際分野において関連疾患をグローバルな視点で解析し、その病態を社会に還元できる科学的創造力を身につけた次世代研究者
- Evidence Based Veterinary Medicineを基盤とし、次世代のTailor-Made Veterinary Medicineの担い手となるグローバルな動物医療専門家・動物看護専門家及び最先端の獣医薬をグローバルに開発できる次世代研究者



上記内容は構想中の内容であり、今後変更となる場合があります。

問5で「獣医師」を選択



問6が表示



問6で「受験したい」を選択した場合、問7・問8が表示

問6 あなたは岡山理科大学大学院「獣医学研究科 獣医学専攻 博士課程(仮称)」を受験したいと思いますか。 **必須**

受験したい



受験しない

問7 岡山理科大学大学院「獣医学研究科 獣医学専攻 博士課程(仮称)」を受験し合格した場合、入学したいと思いますか。 **必須**

入学したい

状況によって入学を検討したい

問8 あなたが岡山理科大学大学院「獣医学研究科 獣医学専攻 博士課程(仮称)」に「入学したい」または「状況によって入学を検討したい」とされた理由をお答えください。 **必須**

臨床の現場で活かせる高度な専門知識の修得と研究力を高めたい  

質問は以上となります。ご協力をいただき、ありがとうございました。

送信

戻る

問5で「動物看護師」を選択



問9が表示



問9で「受験したい」を選択した場合、問10・問11が表示

問 9 あなたは岡山理科大学大学院「獣医学研究科 獣医保健看護学専攻 修士課程(仮称)」を受験したいと思いますか。 **必須**

受験したい

受験しない

問 10 岡山理科大学大学院「獣医学研究科 獣医保健看護学専攻 修士課程(仮称)」を受験し合格した場合、入学したいと思いますか。 **必須**

入学したい

状況によって入学を検討したい

問 11 あなたが岡山理科大学大学院「獣医学研究科 獣医保健看護学専攻 修士課程(仮称)」に「入学したい」または「状況によって入学を検討したい」とされた理由をお答えください。 **必須**

選択してください



質問は以上となります。ご協力をいただき、ありがとうございました。

送信

戻る

問6・問9で「受験しない」を選択した場合、問12・問13が表示

問 6 あなたは岡山理科大学大学院「獣医学研究科 獣医学専攻 博士課程(仮称)」を受験したいと思いますか。 **必須**

受験したい

受験しない

問 12 あなたが岡山理科大学大学院「獣医学研究科 獣医学専攻 博士課程(仮称)」または「獣医学研究科 獣医保健看護学専攻 修士課程(仮称)」を「受験しない」とされた理由をお答えください。 **必須**

大学院に進学する必要性を感じないため

岡山理科大学大学院「獣医学研究科（仮称）」に魅力を感じないため

経済的、金銭的理由

仕事が忙しいため

子育て中のため

家庭の事情

その他

問 13 どのような条件が整えば大学院への進学を検討されるかご記入ください。 **任意**

質問は以上となります。ご協力をいただき、ありがとうございました。

送信

戻る